2006
秋号
10月

老健おかやま

岡山県老人保健施設協会広報誌

岡山県老人保健施設協会総会
特別講演「家族介護者の負担感・充実感とケアマネージャーのその対応策」 橋本栄里子…P1
岡山県老人保健施設協会会長表彰…P2
納得できない介護サービス情報の公表 渡辺清一郎…P3～P4
委員会だより…P5～P6
喜怒哀楽…P7～P10
介護報酬改定と老健施設の闘い方 江澤和彦…P11～P14
「介護予防の取組について」…P15～P17
老漫探健（新見市・高梁市）…P18

岡山県老人保健施設協会 総会

平成18年5月27日
会場:岡山コンベションビューロー(ままかりフォーラム)

特別講演「家族介護者の負担感・充実感とケアマネジャーのその対応策」

慶応義塾大学非常勤講師 橋本 栄里子様

【目的】

介護保険の施行は、高齢者の生活の質(QOL)の向上のみならず、家族介護者の負担軽減も目的としている。従って、介護者を適切に支援するためには、我が国の介護現場での実用に適した介護者状況の把握が必要である。

そこで、簡単に介護者の社会心理的な状況を把握し、ケアマネジャーのケアプラン作成に活用できるようマニュアルを作成した。というのは、既存の負担感尺度は、国外国内でもいくつか開発されてはいるが、我が国の介護者の負担感構造や実用性について十分に検討されておらず、また充実感といった肯定的感情も評価できない。

そこで、この研究では、フォーカス・グループ・インタビューを用いて、家族介護者から広く情報を収集し、我が国での実用性に焦点を当てた試作版18項目(5件法)を作成し、その妥当性を検証した。そしてそれを用いた家族介護者への対応マニュアルを作成して、その対応策や有効性について検討した。

【方法】

調査対象は、東京都区部、神奈川県横浜市、静岡県浜松市の5居宅介護支援事業者を利用する家族介護者(同居)291名とした。本調査は、平成13年9~11月に実施し、ケアマネジャーが自記式質問紙(※1)を家族介護者に配布し、回収は郵送法とした。285票を回収したが、記載不備を除いた結果、有効回答は254票となった(回収率97.9%、有効回答率89.1%)。質問紙内容は、試作版尺度の他に既存の負担感尺度(Zarit Burden Interview (ZBI))、精神健康尺度(General Health Questionnaire (GHQ-12))、要介護者の問題行動尺度(Dementia Behavior Disturbance Scale(DBD))とした。その他、ケアマネジャーから、調査月の給付管理票、直近のMDS-HCを収集した。さらに、試作版18項目の再現性を検証するため、1事業所の家族介護者33名に、1回目の回答から7日以後14日以内に再回答を依頼し、再テスト法を実施した。

※1(自記式質問紙)

問 以下のような状況について、現在のあなたはどの程度当てはまると思いますか?最もよく当てはまる番号に○をつけてください。	非常にそう思う	かなりそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. 介護に費用がかかって困る	0	1	2	3	4
2. 介護のことで家族や兄弟に遠慮したり言い争いしたりする	0	1	2	3	4
3. 介護の専門的なことについて相談できる人がいる	0	1	2	3	4
4. 本人のことが気になって熟睡できない	0	1	2	3	4
5. お世話するたびに、本人に嫌がられてつらい	0	1	2	3	4
6. 上手なお世話の方法を工夫したり学んで介護をしている	0	1	2	3	4
7. 介護がいつまで続くのか、先行きが不安だ	0	1	2	3	4
8. 本人の困った行動や性格の変化に振り回される	0	1	2	3	4
9. 介護の経験は人間として、私の成長につながった	0	1	2	3	4
10. 介護に時間が取られて外出や仕事が思うようにできない	0	1	2	3	4
11. 本人が介護サービス利用や通院を嫌がるので困る	0	1	2	3	4
12. 介護は私の役割だと前向きに受け止めている	0	1	2	3	4

ちょっと聞いちゃって、うちの施設

老人保健施設 いるかの家リハビリテーションセンター

浅口市寄島町16089-16 入所定員80名　通所定員80名

老健施設いるかの家リハビリテーションセンターは浅口市寄島町にあり、瀬戸内の海を眺めることができる豊かな自然環境の中にあります。キーワードはリハビリテーションで自立支援を目的に“いつまでも、このままで”が合言葉です。平成14年度より全国に先駆けてパワーリハビリテーションを導入し、高齢者の心身機能の向上に効果をあげています。利用者の個性を尊重したアクティビティは多様で“やりたい時にやりたいことを”をモットーに、さをり織、書画、革細工などを皆様が生き生きとして活動されています。ユニットケア棟は岡山県認可第1号で、この施設の設計に当っては作業療法士、理学療法士が関わって、トイレの手すりを前面に設置したり、桧造りの個人風呂や椅子は脚長差に合わせたものにするなどのハード面にも充分配慮しています。全室個室で各部屋すべて別々の内装として特徴づけ、ユニットごとにキッチン、洗濯室と家庭的雰囲気の施設が整備され利用者2人対職員1人でサービスを提供しています。“出来ることは自分で”という生活を促し、ADLの向上と認知症の予防に効果をあげています。

【結果・考察】

探索的因子分析（主成分分析法・バリマックス回転）を実施した。因子数2～4で分析したところ、因子数3のとき、最適な解が得られた。さらに、因子負荷量が低い2項目と共通性が低い2項目を除外した結果、各々4項目から構成される3因子構造が明確になり、それらの因子を「束縛感」「孤立感」「充実感」と命名した。次に因子得点と回答素点の合計とのピアソンの相関係数が0.937～0.989であることを確認し、それぞれ4つの質問の回答素点の合計を「束縛感得点」「孤立感得点」「充実感得点」とした。これにより、家族介護者の状況を、3つの側面から得点化できることがあきらかとなった。

また、ケアマネジャー用のマニュアルを用いて、1ヶ月間、それぞれの得点の高い家族介護者に対応を行ったところ、それぞれ、束縛感・孤立感・充実感得点ともに改善がみられた。そしておおむねケアマネジャーの対応は、介護保険制度以外の地域資源の利用促進や、他の家族介護者との仲間づくり対応、介護サービスの量の増大、サービス提供時のコミュニケーションの改善、まとまった休息対応、定期的休息確保対応の6つの対応があることがわかった。

岡山県老人保健施設協会会長表彰

平成18年度 岡山県老人保健施設協会 会長表彰 受賞者名簿

氏　名	職　種	施設名
沖中　純子	介護指導主任	若宮老人保健センター
東山　満子	調　理　員	若宮老人保健センター
渡辺　美津子	調　理　員	若宮老人保健センター
山田　友恵	事　務　長	ゆうゆう村
武田　光恵	看護師長	ゆうゆう村
西嶋　真理子	介護支援専門員	恵風苑
入江　武子	看　護　師	恵風苑
井手　きり子	介護支援専門員	ニューエルダー
東山　雅子	事　務　職	ニューエルダー
野口　秋代	看　護　師	ニューエルダー
有馬　幸江	介護支援専門員	ニューエルダー

表彰を受けて

老人保健施設　ニューエルダーセンター　有馬 幸江

表彰を受けて、長く勤められた理由を考えてみました。就職して最初の頃は「いかにも施設らしい。」「かたい。」感じだったように思います。また、他職種が協働となる老健では意見の違いがでることもありましたが、今では「利用者さんの立場に立った施設」に近づいていると思います。それは、信念を持った指導者のおかげで、そのような上司につけたことが、今まで頑張れた最大の理由だと感謝しています。今後はその考えを受け継ぎ、高いところに理想を持って専門性を高め、頑張っていきたいと思います。

ちょっと聞いちゃって、うちの施設

介護老人保健施設　ケアガーデン津山

津山市河辺332－1　入所定員50名　通所定員40名

ケアガーデン津山では平成10年12月の開設当初から毎週金曜日に音楽療法が行われています。通所ご利用者の方々も、この音楽療法に参加したいので金曜日をご希望された方が多数おられます。様々な音楽の分野で活躍されている先生方が、毎週趣向をこらしたプログラムを組んで下さいます。春夏秋冬季節を感じる歌や、馴染み深い演歌、クラシックなどありとあらゆるジャンルの歌がピアノ、フルートなどで流れ、みんなで口ずさみます。ご利用者の方だけでなく職員までも引き込んで、笑顔がいっぱいになり歌声がフロアに響きます。また北海道から九州まで全国各地の民謡や囃子が流れると、ご利用者の方々が手拍子や掛け声を威勢良くかけ、場を盛り上げて下さいます。最近では日本だけに収まらず、ハワイまで飛びアロハの歌に乗りフラダンスで楽しいひとときを過ごしました。楽器の音を聴き、大きな声で歌ったり踊ったりすることでご利用者の方々は「音楽」に参加し、「音楽」を肌で感じ、心から楽しんでおられます。

納得できない介護サービス情報の公表

法務委員会 委員長　渡辺　清一郎

皆様もご周知の通りこの度、介護保険法の改正に伴い、4月より「介護サービス情報の公表」制度が開始されました。そもそも本制度は、利用者の権利擁護、サービスの質の向上等に資する情報提供の環境整備を図るために、介護保険サービス事業者に対して、自らの介護サービスの内容や運営状況に関する情報の公表を義務付けるものになっております。

我々、老健施設においても、岡山県の指定で岡山県社会福祉協議会を指定調査機関兼指定情報公表センターに指定され県社協によってこの８月より訪問調査が始まっております。

さて、この公表制度まずは介護サービスの提供から始まりますが、この県社協の案内文書が、事業所側に対して非常に高圧的な内容の表現があり、また調査機関についても公募の形跡もなく県社協に決定しており、また調査及び公表に係る手数料にいたっては、県条例に定められているものの、合わせて６万６千円という全国的にみても非常に高額な料金となっております。

この様な公表までの流れが我々としては、とても納得のいくものではなく、県下の各施設より多数のご意見、ご質問を頂戴し法務委員会としても顧問弁護士と相談を現在進めており、老健協より緊急アンケートを取り多くの施設が今回の決定事項について納得していないとの結果がでております。また岡山県老健協会の事務局にも、今回の件で岡山県の方が説明に何度かお越しになりましたが、納得のいくような説明ではありませんでした。

つきましてはこの制度に伴う問題点として国会議員にも陳情書を提出済みであります。また施設運営委員会とオンブズパーソン委員会の方より再度この制度に関するアンケートも先日、皆様方にご協力いただき、この結果も踏まえて、この制度のあり方について県への提言ならびに質問状の送付を考えております。会員施設の皆様方にとりまして納得のいく仕組みや方法論など（例えば、全国老人保健協会としての統一した施設マニュアルの整備化や岡山老健協として独自で調査および公表を行うなど）の提案も思案中であります。つきましては皆様方におかれましては今後の岡山県老人保健施設協会の活動への、ご理解とご協力をお願い致します。

ちょっと聞いちゃって、うちの施設

介護老人保健施設　なでしこ苑

岡山市国体町3-12 入所定員80名　通所定員40名

なでしこ苑は、岡山市の市街地に位置した岡山済生会ライフケアセンター内にあり、JR岡山駅に近く、平成10年4月に開設した施設で、二つの国道の合流点に位置していることから、市内バスなど交通の便に恵まれています。当センターは高齢者が総合的に利用できる、老人保健・福祉の入所施設、通所施設、訪問事業、居宅支援事業及び診療所を備えた「都市型複合施設」で、至近距離にある岡山済生会総合病院との連携により保健・医療・福祉の一貫体制を目指した施設です。なでしこ苑では医学的管理の下に、入所者の意思及び人格を尊重した看護、介護及び機能訓練その他必要な日常生活上の援助を行い、早期在宅復帰を目指します。施設のご利用の方には各種行事やクラブ活動を通じて、季節感のある、変化のある日常生活を送って頂けるよう工夫しています。意欲的な日常生活のために参加型の催しものとして、全事業所参加の秋の文化祭があります。ご利用者の方に日頃から、書道、絵画、手芸など、様々な作品に取り組んでいただきます。特に手芸は、ブローチなどの小物から壁掛けなどの大物まで様々で、施設のやすらぎホールに10日ほど展示されます。この中の一日はコーヒー、紅茶、抹茶、ケーキ、お好み焼き、たこ焼きなども食べながら、輪投げ、ボーリング、魚釣り等のゲームで楽しんでいただき、縁日のような賑わいです。ご利用者だけでなくご家族や職員も一緒になって楽しんでいます。

介護サービス情報公表制度に関する緊急アンケート

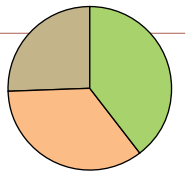
●施設運営委員会・オンブズパーソン委員会

（69施設中・44施設回答）

①現在の「介護サービスの公表」制度について

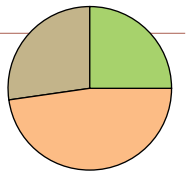
（意義と仕組みに対する意見）

（1）制度の意義



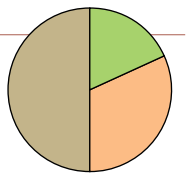
- 有用 …… 17
- 有用でない …… 15
- その他 …… 11
- 合　計 …… 43

（2）制度の仕組



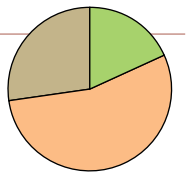
- 適切 …… 11
- 不適切 …… 21
- その他 …… 12
- 合　計 …… 44

（3）県社会福祉協議会が調査、公表機関であること



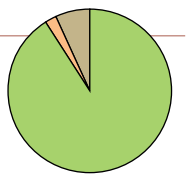
- 適切 …… 8
- 不適切 …… 14
- その他 …… 22
- 合　計 …… 44

（4）料金が必要であること



- 賛成 …… 8
- 反対 …… 24
- その他 …… 12
- 合　計 …… 44

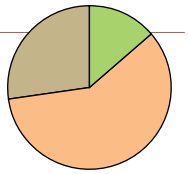
（5）料金の額



- 高い …… 40
- 妥当 …… 1
- その他 …… 3
- 合　計 …… 44

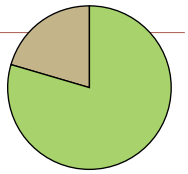
②今回の調査を受けての感想（調査内容に対する意見）

（1）調査項目の内容



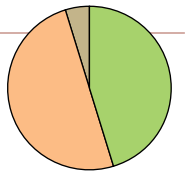
- 適当 …… 6
- 不適当 …… 26
- その他 …… 9
- 合　計 …… 44

（2）調査項目の量



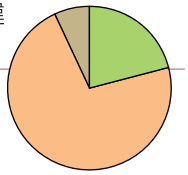
- 多い …… 35
- 少ない …… 0
- その他 …… 12
- 合　計 …… 44

（3）調査に要した時間



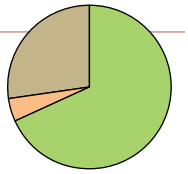
- 長い …… 19
- 適当 …… 21
- 短い …… 2
- 合　計 …… 44

（4）客観的材料確認においての主観の相違によると思われる問題がありましたか?



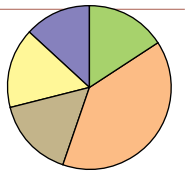
- あり …… 9
- 無し …… 31
- その他 …… 3
- 合　計 …… 43

（5）調査員の印象（資質、態度など）



- 良い …… 30
- 悪い …… 2
- その他 …… 12
- 合　計 …… 44

（6）調査に要した時間



- 1時間以上～2時間未満 …… 6
- 2時間以上～3時間未満 …… 15
- 3時間以上～4時間未満 …… 6
- 4時間以上～5時間未満 …… 6
- 5時間以上～ …… 5

♥ ちょっと聞いちゃって、うちの施設

介護老人保健施設 **ひかり苑**

赤磐市長尾161 入所定員100名　通所定員20名

昨年11月1日で10周年を迎えました当ひかり苑は、赤磐市の小高い丘陵地で、静閑な場所に位置しています。瀬戸駅からは徒歩で約30分と少しかかりますが、何と言っても自然に溢れた良き場所です。理事長をはじめ各スタッフの方々は、一致結束して入所者の方々との和と絆を重んじ、親身になってお世話させて頂いております。どこもそうでしょうがレクリエーションは四季に応じて、オリジナルな物（盆踊り・花見等多数）を考え、披露しています（写真でお見せ出来なくゴメンナサイ。）。こう言った決して派手でない行事やボランティアを通して、入所者の方々の笑顔を拝見すると一段と嬉しさがこみ上げてきます。また職員研修や勉強会、それに年2～3回は実施する非常時避難訓練等を通して、より質の高い介護とマナー、そして安全性を探求しております。今年度は介護職で新規学卒者が6名新たに仲間入りし、先輩たちと従事していますが、皆さん本当に目を輝かせて頑張っています。（…正直言って最初は方向転換されるかな?と言う一末の不安はありました。）隣国の中国の言葉に『轄達老敬心』と言うものがあります。そもそも中国は古来より、儒教の考えのもと、敬老に対する心は絶対だと教えているそうです。つまり『轄達老敬心』とは、常に明るく、大らかな気持ちで、老人を見守るべきだと言う意味だそうです。お国事情や習慣においては、我国とは違いますが、この敬老の精神に関して言えば何かしら敬服に値するものがあると思います。横道に逸れてしまいましたが、これからも、入所されておられる方々全員が、日々の生活のなかで何かしらの発見というか、少しでも生きがいを見出せるヒントと、家庭復帰を引き出せるお手伝いが出来ればと願いつつ、これからも職員一丸となり頑張って参ります。

委員会だより

◆オンブズパーソン委員会

「介護サービス情報の公表」制度とオンブズパーソン委員会

●委員長　太田 仁士

オンブズパーソン委員会は平成11年7月13日に発足し年4～6回の施設調査を行ってきました。この委員会は全国でも初の岡山老健協の独自の取り組みとして今まで一定の役割を果たしてきました。しかし平成18年度より「介護サービス情報の公表」制度が発足し当委員会の活動とこの制度との関係を考える中で当委員会の果たすべき役割の再確認とそれに伴って調査方法の再検討の必要性が生じてきています。

1.当委員会発足の趣旨

介護保険が平成12年に発足するときに特に重要視されたことは「介護サービスの質」を如何にして保つかということでした。何故ならば介護保険においては利用者と施設は対等な契約関係にあるのですが、介護サービスを受ける高齢者は当然の事ながら要介護者ですから介護を提供する側に対しては相対的に弱い立場となる可能性が高いと考えられたからです。そこで利用者と施設から独立した第3者機関によるチェックの仕組み、すなわち「介護オンブズマン」の必要性が叫ばれました。この動きは全国で広まるかに見えましたがあまり大きな動きとはなりませんでした。

しかし岡山県においては老人保健施設協会が自ら介護オンブズマン的な組織の必要性を認めて施設側委員と施設外委員の両者からなる委員会を立ち上げることを決定し平成11年7月13日にオンブズパーソン委員会が発足しました。この時の発足の趣旨としては、この委員会が「利用者と施設の橋渡し役」となるということが謳われていました。

2.従来の活動の意義

1）調査を受ける施設にとっては自施設外の人の意見を聞くことが出来る

2）外部委員の存在により施設関係者と異なった視点での調査が可能

3）内部委員にとっては他施設の状況を知ることができ自施設の見直しが出来る

4）施設間での切磋琢磨による老健協内部での自主的改善活動の推進

3.従来の活動の問題点

利用者の声を代弁するというオンブズマン的活動については不十分であり、現時点では施設側の自主的改善の促進が主たる活動となっています。また利用者と施設との間での情報の非対称性の改善については十分な取り組みは行えていませんでした。

4.今後求められる課題

1）施設サービスの客観的情報は「介護サービス情報の公表」制度により公表

「介護サービス情報の公表」制度が発足しましたが、問題点も多く、緊急アンケート調査でも多くの苦情、意見があり再検討が必要です。

2）当委員会の施設調査は主観的評価を主体とした記述式にて報告

主観的評価の意義は認めるものの、評価の観点がその時々で不定であり老人保健施設に求められる機能の評価の定式化の必要性が生じており検討が必要です。

3）岡山老健協オンブズパーソン委員会運営方針の再検討及び確立

発足当初の趣旨である「利用者と施設の橋渡し役」となるという目的を再確認します。その目的に沿った真に役に立つ情報公表制度のあり方や、この制度とは異なった観点からの当委員会の施設調査、その他の多様な活動のあり方を追求していくことを基本方針として確立します。

◆議員懇話委員会

●委員長　岩藤 知義

暑さも一段落し、さわやかな季節となりました。制度改革後、半年を迎え、施設運営は非常に厳しい状況が続きますが、各施設とも健闘されておられることと思います。

この状況を踏まえ、上半期の当委員会での活動状況としては、平成18年8月18日（金）19:30より、第1回議員懇話委員会をカルチャーホテルにて、12名の委員の参加で開催いたしました。

まず、介護サービス情報の公表制度のあり方、内容、金額、調査の状況や委託先等に関して、各施設とも活発で厳しい意見が出されました。この件については、施設運営委員会やオンブズパーソン委員会等とも協力し、老健協の会員施設からのアンケートを基に、9月15日に岡山県議会議員の先生方と介護サービス情報の公表制度等について懇談会を持つことにいたしました。少しでも会員施設の意見が行政に反映されるよう、今年度は積極的に活動したいと考えております。

次に18年度の議員懇話会は、平成18年11月25日（土）

16:00～19:00、岡山国際ホテルで開催を予定しておりますので、多数の議題や提案を出していただきますと共に、より多くの方々の参加を期待しております。

最後に、医療・福祉共にますます厳しい冬の時代を迎えておりますが、議員懇話委員会としての活動を通じ、現況を少しでも改善できるよう努力していきたいと思います。

◆ボランティア・ＮＰＯ委員会

●委員長　福嶋 啓祐　●副委員長　佐藤 林平

ボランティア・NPO委員会運営につきましては、日頃から多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。

5月27日（土）に日本時間午前8時頃ジャワ島ジョグジャカルタ南南西25キロでマグニチュード6.3の地震が発生し、死亡者5,716名、負傷者37,917名、避難者423,720名の犠牲者がでました。

当ボランティア・NPO委員会は被災者の方々のお役に少しでもたてばと思い、岡山県老人保健施設協会員の方々に支援金のご協力をお願いいたしましたところ、248,764円の支援金が集まり、6月21日に岡山県老人保健施設協会として、国際医療ボランティアAMDAの本部を訪れ、支援金を菅波茂代表に手渡すことができましたことは皆様方のご協力と深く感謝しております。

また、今年度は皆様すでにご存知と思いますが、政府は『介護労働者の確保には将来にわたって問題がない』としていますが、現場では現実労働者の確保が難しい状況になっており、介護分野で外国人労働者を受け入れるか否かが議論されてきている状況があります。

日本・フィリピン政府間で『介護労働者の受け入れ』を含めた経済連携協定が基本合意されて1年半がたち、その実現に向けて動き始めたと聞き及びました。

現段階で、外国人の医療従事者の研修生を介護老人保健施設として引き受けていくとすれば、どのような方法等があるか関係機関と協議をしようと考えています。特に、ジャイカ（JICA）独立行政法人・国際協力機構の組織及び仕事の内容等について説明をうけましたので、近日中に委員会を開催し、委員の方々に意見を聞かせていただき、種々検討していきたいと思っておりますのでご協力のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

併せて、岡山県国際貢献活動の推進に関する条例について勉強会が開催できればと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

◆学術委員会

●事務局　中野 ます美

当学術委員会では、今年度も各職種別の「部会研修会」及び各エリア別の「ブロック」研修会がそれぞれに開催され、活発に行われていることが報告されています。

学術委員会における今後の予定は下記のとおりです。また今年度より従来の「中国地区介護老人保健施設大会」は学術発表をのぞき、厚生労働省の基調講演とシンポジウムの形式にてスリム化され7月21日（金）愛媛県民文化会館において｛テーマ:老健の風｝開催されました。

平成18年度実施予定の学術委員会（全老健等含む）の研修会

◆岡山県介護老人保健施設大会

平成18年10月17日（火）10:00～17:00
会場:ライフパーク倉敷
午前:学術発表｛演題抄録募集締め切り 10月10日（火）｝
午後:シンポジウム
テーマ:「原点に立ち返って高齢者の尊厳を考える」
～そして今、私たちにできること～

◆第17回全国介護老人保健施設　熊本大会

平成18年11月9日（木）　会場:グランメッセ熊本
11月9日（木）～10日（金）
会場:鶴屋ホール・パレアホール
開催テーマ:「新たな包括的地域ケアをめざして」
～在宅ケアの拠点とリハビリテーション～

◆岡山県老人保健施設協会　平成18年度特別研修会

平成18年11月11日（土）14:00～17:30
会場:倉敷アイビースクエア　フローラルコート
『生活習慣予防と介護予防の視点から考える高齢者ケア』
パネルディスカッション　「介護予防と高齢者ケア」
特別講演「心臓病のお話」:横浜薬科大学教授
橋本敬太郎先生（山梨大学大学院医学工学総合研究部　名誉教授）

◆介護老人保健施設中四国ブロック職員研修会

平成18年12月7日（木）
会場:海峡メッセ下関　展示見本市会場
（下関市豊前田町）
講演「認知症高齢者へのリハビリテーション」
パネルディスカッション「在宅生活支援に向けて」

◆職員合同研修会

平成19年2月17日（土）
会場:ライフパーク倉敷

他、「感染症対策強化プロジェクト」役員会や「医師部会」の立ち上げなども予定しております。それぞれ参加してくださる皆様方の意見交換や情報共有の場となり　、また相互理解の必要性、重要性に気づく学びの場になる有意義な研修会を目指していきたいと思っております。

今後も各研修会へのふるってのご参加をお待ちしております。

喜怒哀楽

業務の中で嬉しかった事、悲しかった事

医師

喜怒哀楽 ゆうゆう村　医師（施設長）難波 真平

「愛情と忍耐」この両方を備えたいと思う。どちらが欠けても介護はできない。介護現場ではこの二つの要素をバランスよく使い分けることが必要だ。そのためには高度の心の修養がなければ難しい。講演会は「これでもか」という位、頻繁にあるが、現場で長年苦労した経験のない大先生方のご高説は無意味とは思わないものの、理論だけが支配する世界でなく、むしろむき出しの人間同士の感情のぶつかり合いの中で生きている介護者の心の琴線に触れる話が重いのではないかなと思う。

●**好きな言葉**…清く正しく美しく（いくら難しいことを言っても、究極の心構えはこれしかないと最近は思うようになりました。）

看護

喜怒哀楽 恵風苑　看護師 入江

介護保険制度の開始以来、看護業務は大きく変化したように思う。重度の利用者の増加により毎日が目まぐるしく過ぎていく。そんな中で発語の少ない方が、「おはよう」「ありがとう」等と目を離さずに答えていただくと嬉しさの余り手を握りしめてしまいます。どんな状況の中でも自分自身が笑顔を絶やさず接する事を念頭に今まで勤務してきましたが、その事が実を結んで来たのかなと考えた時に、これからも笑顔を元に嬉しさを感じようと思っています。

●**好きな言葉**…正直

喜怒哀楽 作東老健　看護師 こぶたちゃん

老人保健施設に勤務して14年目です。勤務当初は、夜勤明けで参観日にも行ったものです。あれから14年最近疲れは、とれないし更年期も加わり、ダブルパンチです。施設では100歳を頭にたくさんの姑さんがおられます。「家に帰れば姑が、仕事に来ても姑が……」と話すと大爆笑です。病院より施設の看護職の方が責任も重く大変です。今の仕事は、全てが人生勉強です。入所の方は人生の大先輩です。私達も“行く道”なので真心をもって対応させていただこうと思いながら、日々勤務してます。

●**好きな言葉**…明日があるさ

喜怒哀楽 作東老健　看護師 ピンクダルマ１

福祉施設に勤務して13年目ですが、嬉しかったことは、利用者の方がここの施設にお世話になって良かったと云われた時。哀しかった事は、利用者の方が入所されて子供さんと別れる時、胸のつかえる時が何度かあります。多数の方が年に1～2回程の外泊もできかねない利用者がおられます。又、介護専門員の試験を受けて不合格の時はとてもつらく、再度受験して合格した時は大変嬉しかったです。

●**好きな言葉**…親の恩より、師の恩を忘れるな

喜怒哀楽 作東老健　看護師 匿名希望

毎日毎日「疲れたぁ」と思いながら、それでも老健勤務が約10年続いている。日々それなりに腹も立ちしょぼくれることもあるが、ひと昔といわれる程の間も仕事を続けているということは、それにも負けない、小さな「うれしいこと」「楽しかったこと」があるからだろう。これからもこんなふうでいい。それなりの日を過ごせたらいいと思う。

喜怒哀楽　看護師 匿名希望

常勤の医師の確保が難しい現状で医師の度重なる交代、それに伴う方針の変更で戸惑い、苦痛さえ感じている。医師不足だと言っている国の政策についても憤りを感じることが多い。一時の腰掛状態で赴任してきた医師については信頼関係も築けず医師の判断、指示においても納得できない事が多い。そんな迷いを持ち、利用者に対し充分なケアが提供できるとは思えず、今後に不安を感じている。

喜怒哀楽 信愛苑　看護師 匿名希望

夜勤中、弱々しい男性利用者が思わぬ大きな「ブファ～!!」排ガスをベットの中で放った。同室者のポータブル介助していた私はその屁の大きさにビックリしました。音にビックリとよろこびも同時に感じたしだいです。こんなりっぱな若々しい力強い屁を高齢者から聞いた事がなかったからです。その男性利用者と手を取って「りっぱじゃなぁー」と手を取って屁に感動しました。

●**好きな言葉**…プラス思考（何事も現状はいっしょでもプラスで前向きに考えてゆけばなんとか道は開けるし、なんといっても人生が明るくなる。）

喜怒哀楽 信愛苑　看護師 匿名希望

●**好きな言葉**…なんとかなるさ（ピンチの時や失敗した時等、私のお約束の言葉。この言葉一つで開き直れます。他の人から相談事があった時もこの言葉で元気づけます。）

喜怒哀楽　看護師 まったりでおじゃる丸

今、うちの職員の中で心理テストがはやっている。この中で私の恋愛観を表わす四字熟語は「一期一会」人生観を表わす四字熟語は「四面楚歌」だった。なんて寂しい人生…とへこんだのだが、考えてみれば、師長という役職は孤独なものなのだ。世で言う「中間管理職」で身も心も痩せ細る（?）思いで日々仕事しているのだ。なので、みなさん、師長さんを労ってあげてください。（よそは知らんが、そんなことはないと思う…と横でスタッフの声がする）

●**好きな言葉**…知者は時には心を変えるけれども、愚者は決して変えない（人の意見をなかなか聞けない頑固者なのでこれを教訓にしています。）

喜怒哀楽 虹　看護師 匿名希望

施設に勤務し4年程ですが、高齢者との関わりの中で心に残っている事は、今まで傾眠傾向の状態の人が訪室時の声かけ、短時間の離床、音楽療法などの関わりを続けていき、食事が摂取できるようになり、排泄もトイレにて行えるようになり、自らの訴えも言えるようになったことです。これを経験し、毎日の声かけ、関わりとはとても大切であることを学ぶとともに、とても嬉しかったです。

●**好きな言葉**…未来

看護

喜怒哀楽 福寿荘　看護師 桜子

業務を遂行していく中で、嬉しかったこと、哀しかったことは、数えきれないくらい経験してきました。利用者様中心の生活の場を提供させて頂くにあたり、日々職員の慌しい雰囲気の中、利用者様に気兼ねをさせている部分が多々あると感じています。しかし、その忙しい中にでも時間を見つけては利用者様の側に行かせて頂き耳を傾けれると「嬉しい、看護婦さんに逢えたわあ」と言って下さるその言葉に心が和み、又、頑張るぞという勇気が出てきます。

●**好きな言葉**…ありがとう（この言葉の中には優しさだとか、思いやり、労りなど心があたたかくなるような気持ちになるからです。）

喜怒哀楽 弥生ヶ丘　看護師 匿名希望

向日葵の咲き姿がとても良く似合う盛夏の季。母は施設入所後、わずか半日の短い時間を、自分がおかれた現実が認知できず、戸惑いと不安の混乱状態で時を過ごした。やっと窓の向こうに我が家を見つけ「帰りたい」念い（おもい）で足を運び、そして階下へ転落していった。…この現実を長年受け容（い）られないまま、“喜怒哀楽”の感情を失った娘は、今、施設でまるで自分の母の姿をひたすら探すかのように、利用者の方々の傍らに共に居る。その存在にあと押しされながら“喜怒哀楽”の感情は一瞬一瞬確かなものとして私の中で育っている。

●**好きな言葉**…人生において 起こることは 全て必要であり 必然であり ベストである

喜怒哀楽 弥生ヶ丘　看護師 匿名希望

「喜怒哀楽」の「喜」になるのかどうかわからないが、今の仕事をしていて、いつも、ほのぼのと思う時は、食事時。どんなに怒っていても、泣きべそしていても、自力摂取の方も介助の方も、もくもくと食事をしている姿を見ると何故か“生きてるってスバラシイ!!”と感じてしまい、人生の先輩方に対して失礼かもしれないが、可愛らしい、ほのぼのしてる～と思ってしまうのでした。どうか無事に食事をすませてね…と願いながら、密かに心の中でほのぼのしています。

●**好きな言葉**…冬来たらば、春遠からじ

喜怒哀楽　准看護師 小谷 みどり

介護の仕事を始めて、一年七ヶ月。まだまだ未熟な私にも、“ありがとう”と感謝の言葉や、やさしい笑顔を向けてくれます。さ細な事の様でありますが、私にとってはとてもうれしく、また、楽しく仕事を続けていける原動力だと思います。同僚に、仕事をやめたいと思った事があるかと聞かれた事がありますが、その時も、今現在も“ない”と言えると思っています。

●**好きな言葉**…よく遊び、良く学べ

介護

喜怒哀楽 エスペランスわけ　介護福祉士 いやしのS♡

入所者の御家族様で、めったに面会には来られない遠方の方ですが、来られる時には必ず一泊の外泊をされます。その外泊より戻られた時に「母と一泊過ごしている時にいつも母が変わらないのが嬉しい。年も年なので出来ない事も増えてくるが、変わる事がなく出来ているのでここでの生活が母に合っているのだと感じました。」日頃より、私達が行っている援助が本人らしさを維持させ、その事が御家族様にまで喜んで頂けていると実感し、嬉しくおもいました。

●**好きな言葉**…ありがとう

喜怒哀楽 エスペランスわけ　介護福祉士 スタッフの中で1番若い私♡

利用者様と共に過ごす日々の中で数々の笑顔や温かい言葉が心の支えとなっています。ある日、利用者様と会話をしている際、何の前ぶれもなく「○○さん幸せ?毎日楽しいですか?」と質問をしました。するとその方は「幸せです、みんながいるから」と満面の笑みで答えて下さり、心が温かくなりました。利用者様の笑顔は、私たち職員の元気の源です。いつまでもこの笑顔を絶やすことがないよう、守り続けていく関わりをしていきたいと思います。

●**好きな言葉**…がんばる頃はいつも今

喜怒哀楽 オアシスK−3　ケアワーカー 匿名希望

介護の世界に飛び込んで早7年。はじめは自分の知識、技術のなさが悔しくて涙することもありました。自分の事で精一杯だったあの頃。でも周りにはそんな私を受け入れてくださったお年寄り達がいた。あれから7年。今も変わらず私の周りには沢山のお年寄りがいます。あの頃と違うのは同じ時間を過ごす事で分かち合えるようになった一人一人の喜怒哀楽。そんな当たり前の毎日をこれからも一緒に過ごしていきたい。

●**好きな言葉**…最後まで、その人らしい人生を

喜怒哀楽 ケアガーデン津山　介護 匿名希望

嬉しかった事。私がこの仕事していて嬉しいと思ったのは、利用者さんからのささいな一言です。「ありがとう」ありきたりな言葉ですけどやっぱり言われると嬉しいですね。他には髪形を変えた時に「髪形変えたんだね」「かわいいよ」って言われた時、私の髪形まで覚えてくれてるんだと思いすごく嬉しかったです。そんな言葉を聞けるから私は毎日楽しくこの仕事を続けて行けてるんだなぁと利用者の方に感謝しています。

●**好きな言葉**…力は我の内にあり（人間だれでも自分自身の中に大きな力（才能）がある。自分を信じて、何事も他者のせいにするのではなく、まず、自分の中の力を引き出すこと。）

喜怒哀楽 玉野マリンホーム　介護福祉士 平井 弘治

日々の多忙な業務、たくさんの記録物の記入、人出不足の中、十分な生活支援を提供できない毎日、つい眉間にしわを寄せ仕事をしている。そんな自分の眉間のしわを解してくれるのは「あんたが好きよ」といってくれる利用者の言葉だったり、利用者と共に大爆笑できる時間を共有したりとこの仕事の醍醐味に触れ、喜びを感じる瞬間がある事です。これからもこの瞬間を大切に思えるよう謙虚に仕事をしていきたいと思います。

●**好きな言葉**…謙虚（ついつい10年も同じ現場で仕事をしていると自分の考えや思いを他人に押し付けそうになる事がある。そんな時にこの言葉の思い出すようにしています。この言葉には相手を思いやり、人の気持ちを推し量って前へ、前へ出過ぎず行動できるというイメージがあり好きです。）

介護

喜怒哀楽 古都の森　介護士 山根史義

介護の仕事を始めて3年経ちました。最初の頃、利用者様に「ちょっと」とか「お兄さん」とか呼ばれていましたが、「山根くん」と呼んでもらえた時とても嬉しかったです。当たり前の事をしているのに「山根くんありがとう」と言われると、嬉しいと同時に責任を感じ、もっと頑張らなければと思います。リハビリの成果が現れ車椅子で入所された方が、杖歩行できるようになったとき『やった!』と思い本当に嬉しいです。「山根くん、歩けるよ!」とみせてくれた時は、この仕事を始めてよかったと思います。これからも、利用者様に笑顔でいてもらえるような介護を続けていきたいとおもいます。

喜怒哀楽 作東老健　介護 匿名希望

施設の中でも仲良しさんの方同士もあれば馬が合わない方もいらっしゃる様です。この仕事についてまだ1年生です。私自身も若くないですが、少しだけ施設の利用者に近い分その方達と友達の輪に入れたらうれしいです。認知症の方に接するのは私の心が全部わかっておられる様な目をしておられ、身が引きしまる思いです。いつまで続けれるかわかりませんが、体が続くかぎり頑張ります。

喜怒哀楽 作東老健　介護員 匿名希望

業務の中で嬉しかったことは、自分のどんな些細な行為に対しても“ありがとう”という感謝の御言葉を頂くときです。またその日の業務が終了し、帰宅しようとしている姿を見かけられたときにも同様に利用者から感謝されるときです。哀しかったこととしては誠意をもって介護、介助を行っても、利用者には、伝わらないというか、理解してもらえず、叱られたりするなどして気分を害してしまったと自分自身が利用者の表情などからそのような心情を察した時です。

●**好きな言葉**…努力

喜怒哀楽 作東老健　介護 良い嫁

なんと!!食事の時にでた“すいか”の種を居室の持ち帰り育てた入所者の方がおられました。外泊の時に肥料を少し持って来られそれから“忍”の一字で育てておられたようです。育てるといってもベランダのせまい・せまい一角で!!でもそのすいかの種はみごとに実となりました。今日現在スイカの大きさは砲丸大です。「切る時は包丁とまな板を持って来るから言ってね。」とスタッフは声かけしてます。

喜怒哀楽 若宮老人保健センター　介護 花房 義之

この「介護」という職に就いて、10数年という年月が経ちます。就職した頃は業務の多さに戸惑い理想と現実の違いに悩み職を変えようとも考えたりしました。その中で未熟な私がここまで歩んでこられたのは、利用者からのあたたかさややさしい言葉でした。「あんた!明日も来てくれるん、待ちょうるよ。」・「きのうは、来んかったな。元気なん。」などこれからも利用者様から頂いた言葉を大切に「介護」という職を天職としてがんばりたいと思います。

●**好きな言葉**…初心貫徹

喜怒哀楽 勝央苑　介護 匿名希望

「人との出会いに感謝」
人と関る仕事がしたいという思いから、介護の仕事につき8年が経とうしています。多くの方との出会いと別れがあり、利用者との臨終に関るのは辛く、悲しいものでその人に対し精一杯のことができただろうか、いつも自問自答しています。とても大切な時間を一緒に過ごすことが出来たことに感謝すると共に命の尊さや生命力の偉大さにあらためて考えさせられます。介護の仕事は、奥が深く何度も挫折する事もありますが、利用者の笑顔や「ありがとう」の言葉に喜びを感じ逆に元気をもらっています。

喜怒哀楽 勝央苑　介護士 匿名希望

入所者の方が言って下さった言葉です。「あんた、他人のような気がしないわぁ」

●**好きな言葉**…為せば為る

喜怒哀楽　介護福祉士 Go!Go!

喜:紙パンツとパット使用の利用者さんがいて、その人が最近“紙パンツをちぎり、脱ぐ”という行為を行うようになり、認知症もあり無意識の間の手悪さにその都度、衣類汚染と紙パンツ更新の日々に悩まされていた。最近思いきって布パンツに変えてみた。すると何ら問題なく衣類を整えるのみで良くなり、紙パンツがはずれた。こんなに入所以来おしめが必要でずっと使用していたのにふとした出来事で要らなかったおしめに気付くことができ、とても嬉しかった。

●**好きな言葉**…終わりがなければ始まらない(別れは辛いことばかりじゃないと思えるし、出会いの大切さを感じるから)

喜怒哀楽 信愛苑　介護福祉士 RT

業務の中で嬉しく感じる事は、利用者の方が名前を覚え呼んでくださり、私の存在を必要とされている時です。名前を呼んでくださる事で任されていると自覚をし、責任を持って仕事が出来ている様に思います。また、ご家族の方からもお礼の言葉や声をかけて頂いたりするときも大変嬉しく感じる瞬間です。逆に哀しく思う事は利用者様とのコミュニケーションで意思が通じなかったり、相手にきつく言ってしまい心を傷つけたりした時です。大変反省と後悔をし私自身も哀しい気持ちになります。

●**好きな言葉**…石の上にも3年(どんな事『大変なこと』があっても3年間はとりあえずその道に徹する事が必要だと思い頑張ってこれた言葉の1つです。)

喜怒哀楽 信愛苑　介護 あやめちゃん

楽:8月5日夏祭り会は楽しかった。私たちは院内で小規模施設とはいえ、気合いが違う!スタッフが分かれて本格的な屋台を出して回ってもらうのだ。衣装はハッピやはちまき、浴衣。利用者さんも着てもらいムード全快でとても楽しめた。普段あんまり笑わない人が商品の“えびす顔”のお面をつけて笑っていたのが最高だった。その後、そのお面をベットの枕元へ飾り、それを見ては自然とニコニコとして会話が穏やかになり私も祭りを思い返している。

●**好きな言葉**…NO MUSIC NO LIFE(常に音楽をきいて、触れて楽しんでいたいから)人生悔いなし(そう思える様に生きたいから。前向きに!)

介護

喜怒哀楽 信愛苑　介護 いぬ

日々、業務の中で利用者の方と関わることが出来るので楽しく過ごせています。その毎日の中で、哀しかったことは、やはり業務での書類の多さで時間が過ぎて一人一人の利用者さんとゆっくり話がきけれないことにあります。利用者の方に笑顔のある、向き合って行ける介護がずっとしていきたいと思います。そうするためにもチームプレーを大切にし、責任ある仕事をみんなでしていかなければいけないと思います。

●**好きな言葉**…大願成就(いつも願い事を持ってそれに向かって頑張りたいから…)

喜怒哀楽 信愛苑　介護福祉士 ドラ○モン

入社して○年。月日がたつのも早いな～としみじみ感じているとこです。色んなことがありました。中でもいちばん辛い思いをしたことは入社2年目の頃、全く心を開いてくれなかった利用者さんがいたことです。最初はいっぱい、いっぱい会話もでき「頑張りねぇよ」と励ましのことばももらってましたが、いつからだったか、徐々に嫌悪されるようになってました。今思えばそれが私の技術不足にすぎなかったと反省するとこです。どんなに良い関係だったとしても、たった1つのことで崩れてしまうことに淋しさを感じました。あれから○年…今、その時おられた様な利用者さんはいません。今でも元気でされているのかと気になります。でも、人生は苦もありゃ楽もありということですね。今は利用者さんと楽しく日々日常送っています。仕事といっても人間相手にしているわけですし、腹立つこともあれば幸せを感じることもあったり…

●**好きな言葉**…心機一転　㊔肉㊐食(人生、楽しく生きたいと願う。幸あれ)

喜怒哀楽 信愛苑　介護 みい

私のことをご自分の知り合いか家族の方の誰かとまちがわれたのか、いつも「もーちゃん」というあだ名で探して呼んでくださっていた利用者様がいてその方が亡くなられそう呼んでもらうことができなくなったことがとてもさみしく哀しく思います。いまだに「もーちゃん」という存在がその方にとって誰だったのかわからないけど、私を見てはとても素敵な笑顔で「もーちゃんか!」と喜んでくれていたので、私にとって「もーちゃん」という名は特別なもので、ずっと忘れられません。

●**好きな言葉**…The end is the best strat(「終わりこそ最良のスタート」全てやるべきことをして行き詰まったときこそ、新たな道がひらける、という意味)

喜怒哀楽 信愛苑　介護福祉士 匿名希望

ある利用者の方に、ヒゲ剃りをした際、うまく剃れず切ってしまった。それから同じ過ちをしないと反省し、家でヒゲ剃りの練習をした。それから、またその利用者の方の洗体をしヒゲを剃った際「うまくなったなぁー」と言われた時はすごく嬉しかったです。

喜怒哀楽 信愛苑　介護福祉士 匿名希望

2ヵ月程休職後復帰した時“久しぶりじゃなぁ”と利用者の方に声をかけていただき“覚えてくれてたんだぁ”と嬉しく安心しました。

●**好きな言葉**…努力(なかなか出来ないので)

喜怒哀楽 信愛苑　介護福祉士 匿名希望

堅い表情の利用者さんがスタッフと関わることで穏やかな表情へと変わる場面に出会ったときに喜びを感じます。逆に何かを訴えられても、その事を理解しきれなかった時には哀しくまた自分自身に腹立たしさを感じます。

喜怒哀楽 信愛苑　介護福祉士 野村和弘

利用者さんから激励の言葉や感謝の言葉を言ってもらえた時などが嬉しいです。

●**好きな言葉**…一発逆転

喜怒哀楽 津山ナーシングホーム　介護員 匿名希望

嬉しいことは、利用者の方の笑顔や言葉の気持ちで、毎日実感しています。また、将棋のできる方が何名かおられ、対戦しながら駆け引きや会話を楽しんでいます。逆に哀しいことは、どんな事情であれ退所される方との別れです。仕方のないことですが、寂しさを覚えます。一期一会の重みをかみしめながら、人生を豊なものにできるよう職場の方や利用者の方々と関っていきたいと思います。

●**好きな言葉**…愛(愛のない人生は味気ないから)

喜怒哀楽 津山ナーシングホーム　介護 和田 一幸

最近デイケアをご利用されている方で九十九歳の女性の方がおられます。独居である為、閉じこもりがちでしたが、運転手さんが大変優しく、たびたび声をかけて下さったり、入浴サービスがとても楽しみなのでと、現在、週3回ご利用されています。今では馴染みの利用者も出来、毎回レクリエーションにも参加され、とてもいい笑顔になっておられます。今更ながら、第一印象の大切さと、笑顔の接遇の大切さを実感しました。

●**好きな言葉**…誠実　情熱

喜怒哀楽 虹　介護 匿名希望

日々の業務は,いろんな大変な事があるけど、それ以上にたくさんの喜びがあります。利用者様が私の名前を呼んでくれたとき、レクリエーションで利用者様の話しを引き出せた時、その話しで他者との会話も増え友人ができていくこと、利用者様が持ってきて下さった花がきれいに咲いていることなど、些細な喜びが私の活力となり、虹を支えています。これからもこんな小さな喜びがあふれる虹にしていきたいと思います。

●**好きな言葉**…虹(人と人とのかかわり様でステキな色に変わるから)

喜怒哀楽 福寿荘　介護福祉士 匿名希望

業務の忙しさの中でどこか利用者本位という大事なことを忘れがちになっていることに利用者様の「ありがとう」という言葉で気づかされます。「ありがとう」という言葉を聞くだけで嬉しく感じたり、はっとさせてもらったり、一つの言葉からこんなにも多くの思いを受けることができるだと改めて感じることができました。言葉一つで自分にも相手にも大きな影響を与えます。「ありがとう」この一言を大切にしたいと思うことができました。

●**好きな言葉**…天真爛漫

介護

喜怒哀楽 福寿荘　介護福祉士　匿名希望

この仕事をしていて嬉しかったことは、とても多い。利用者やご家族からの「ありがとう」などの言葉や、利用者がより良い状態で生活しているのを見守らせて頂いている時などである。そのような中で、哀しい事もある。それは、自分自身「もっとこうしておけば良かった」と反省する事が年々増えている事と、長い年月の中で、嬉しい感覚が薄らいできたことです。色々な思いはあるが、日々の仕事で多くの事を得て、これからも、自分自身成長していきたい。

●**好きな言葉**…忍耐

喜怒哀楽 福寿荘　介護　森

担当の利用者の方がレベル低下し、ほとんど反応がなくなった時、他の職員では反応がなかったが、自分の声かけにはかすかな反応をかえしてくれた時、うれしくもあり元気だった時が思い出され、哀しくもなりました。

●**好きな言葉**…夢（内向的だった担当の利用者が、“貴方に会えて、俳句の本を作りたい”という『夢』が出きたと言われたので。）

喜怒哀楽 福寿荘　介護福祉士　森本 早苗

ー喜びは苦より、まさるー

「させて頂いていいですか。」

初対面から、この時を心待ちにしていた。「助かったー。」片麻痺の障害を有す利用者の通所リハビリでの排泄介助。なじみのない私には拒否があったがゆえ、受け入れられた瞬間、うれしさが増した。介護の仕事はしんどさもあるが、それにもまして喜びが優る。利用者に対し、さて、私はいくつ喜びを返すことができたのだろうか。

真剣に向き合う大切さ、身にしみた。

●**好きな言葉**…人にやさしく、自分に厳しく、強く生きる

喜怒哀楽 福寿荘　介護福祉士　田中 真希子

「今日、帰る前に私の所へおいでーよー」「今日はどこで仕事をしとるん？」とまるで親戚の人と話しをするように話しかけて下さる利用者Aさんがいます。その言葉ひとつひとつがとても温かく、嬉しく感じています。Aさんの話しを聞いていると、その日に嫌なことがあっても癒され「やっぱりこの仕事をしていて良かったなあ」と思います。Aさんは「今日は忙しいのに来てくれてありがとよー」と言って下さいます。私も「私の方こそAさんありがとう」と心の中で言い温かい気持ちになることができるのです。

●**好きな言葉**…笑う門には福きたる（笑顔の方がやっぱりいいことがあるから）

喜怒哀楽 福寿荘　介護福祉士　匿名希望

オシメ着用で日中ベットに臥床しテレビを見て過ごしていた担当の利用者が家に帰りたいと訴えてきました。本人のやる気もあり、トイレ誘導を実施し徐々に失禁も見られなくなってきました。家族の協力のもと最初は外出から試してみて、いろんな職種の方と在宅に向けて取り組んだ結果、在宅復帰できました。今では元気にデイケアに通って来られているので、その利用者の笑顔を見れると嬉しいです。

●**好きな言葉**…目標（目標がなければ生きる希望が持てないし、目標を少しずつ達成して良くなってくれた時は嬉しいから）

喜怒哀楽 弥生ヶ丘　介護　安東 昌美

私が長年この仕事をしてきて感じた事の一例を書かせていただきます。「看護婦さん、わしゃあこんなに良うなるとは思わなんだ。」と満面の笑みで言われ、先生や職員に対して大変感謝して下さいました。この利用者の方は寝たきり、留置カテーテルを装着した状態でご家族と共に暗い顔をして入所して来られました。悲観にくれ将来に希望を失われ肉体的以上に精神的ダメージを受けておられました。私達はまず心のケアから入ってゆき、少しづつリハビリを重ね、ご家族の愛情と支えと強い精神力でぐんぐん良くなりW/C生活となっていった。それにともないADLも拡大しやがて通所で通うようになり、その後在宅へと帰っていかれました。利用者の方にとってリハビリも大きな成果のひとつではありますが、ご家族をも含めた心の支えがなにより大切である事を痛感いたしました。老健施設の使命を果たせたという充実感と1人の利用者の方の社会復帰への手助けが出来た喜びを日々体感しながら今後もこの仕事に従事して行きたいと強く思っています。

●**好きな言葉**…一期一会

喜怒哀楽 弥生ヶ丘　介護　藤本　泉

月に1～2回音楽活動の実践を行なっています。昔歌った歌、季節を感じることのできる歌などを話しを交えながら歌ったり、体を動かしたり合奏をしたりしています。利用者の方は昔を思い出し季節を思いふだんほとんど言葉のない方とでも会話をはずませることができています。利用者の方は私に「リズムを感じているしぐさ」「楽しい表情」拍手をしてくださり「ありがとう」と「感謝のことば」などたくさんの贈り物をしてくださいます。歌が思いを共有でき、利用者の方と向き合えた時が私の一番嬉しさを感じる時です。

●**好きな言葉**…思いやりの心（相手の立場に立って気持ちをくみ取りながら、いつも「共感」体験を大切にしていきたいから。）

喜怒哀楽 弥生ヶ丘　介護　林 八千代

本当に薄情だよ。こんな仕打ちがあるものかい。皆知らん顔をして…。と毎日言われる悲しい言葉。でもそんな利用者様が、今日は、全々寂しくなかったよ。だって皆がいたからね。一緒だったから待つのもちっとも苦じゃなかったよ。とある夜とても優しい笑顔で言った時。「そう、よかった」と言いながら、こちらもとても嬉しくなった。その後の会話もいつもと同じ、いい夢見て下さいね。そんな事の一つ一つが小さくて大切な嬉しい時間。

●**好きな言葉**…来年（また来年も～しましょう。来年、この花、見ましょうね。利用者さんとの未来のある言葉なので今は好きです。100歳の利用者さんが私には次がないなぁといわれるので最近よく使います。）

喜怒哀楽 邑久ナーシングホーム　介護職　ぎこちないピエロ

デイケアの行事のうち、年に1度、職員のかくし芸を利用者の皆様に披露します。特技のない職員達が短期間練習を行い、当日は大失敗OK、でも真剣そのもののかくし芸です。私の出し物は毎年恒例“ピエロ”です。まったくの素人で動きや内容はメチャメチャですが、「誰だかわからないけど、楽しいよ。ありがとう。」と大笑いをして下さいます。私は利用者の皆様の笑顔を見る事ができた時、最高に嬉しく感じるので、また“ピエロ”を演じる私です。

●**好きな言葉**…和顔愛語〈わがんあいご〉　（この言葉は、今はもうお亡くなりになってしまったある利用者様がお好きな言葉で、「やさしい笑顔で愛の言葉をかけ合いましょう」という事だと教えて頂きました。実際は難しい事なのですが、出来る限り『和顔愛語』の気持ちを持って、周りの方々と接していこうと思っています。）

介護

喜怒哀楽 邑久ナーシングホーム　介護福祉士　長瀬 洋子

「喜びと報いのあるケア」

ご利用者10名のユニットケアでは、関わり方により、大きな喜びが返ってきます。無言、無動、無気力、HDS-R不能のSさんのケアにおいて実感する事が出来ました。

頭脳明晰な方でしたが、家族が遠方な為、施設生活を余儀無くされた結果、反発と精神的不安定をかかえ、向精神薬服用、一日の大半は目を閉じ、無言、食事摂取も全介助状態となっていました。信頼関係を培う事が先とスキンシップを取りながらの挨拶、職員側一方通行の会話をくり返していました。心を少しだけ開いて下さる様になったのは、二ヶ月経過していました。一つの質問に短期記憶が保てた応えが返された時は、信頼の芽が出始めた事に大きな喜びを感じました。

それから一年が経過する頃にまでに、食事が自立、簡単な会話が出来、ピアノを連弾され、歌を口遊まれる様になられました。もちろん、精神薬は中止となり、HDS-Rも取れる様になり、ケアが楽しいものとなっていました。しかし、体力的に弱い方で、年に2～3回は高熱を出されて、寝ずの看病も続き、一喜一憂のケアとキュアでしたが、医者である息子さんからの感謝の言葉は職員の励みとなり、とても報いの大きなものとなりました。Sさんとの関りは、懐かしい思い出となり、疲れた時の活力剤ともなっています。

喜怒哀楽 老健あかね　介護福祉士　カシューナッツ

～哀～この言葉が近頃よく当てはまります。今の職場に就いて2年がたち、日頃の利用者様との応対（特に言葉使い）で、ついイライラしてしまい強い口調になったり、なれあいな会話になってしまいます。後で、あれは言いすぎた、良くないのに…と反省し、進歩しない自分に悲（哀）しくなってしまいます。完璧とは難しいでしょうが、日々少しずつでもよくなれるよう頑張りたいと思います。現場で一緒に働く皆様、こんな私ですがこれからもよろしくお願いします。

喜怒哀楽 和光園　介護福祉士　清枝 真由美

日常生活の介助の中で、利用者様のちょっとした仕草、表情や何げない言葉に一喜一憂することが多々あります。「ありがとう」の一言だけでやる気が倍になったり、逆に悲しそうな表情を見ると、こっちまで悲しくなります。仕事というよりは、自分の生活の延長という感じで、家に帰っても気になることがよくあります。調子の悪い方を見るだけで、自分も同じ気持ちになったり、人に左右されやすい面もありますが、楽しんで毎日の介助を行っています。

●**好きな言葉**…ウイスキー（接遇研修で最初に習った言葉です。語尾が“イ”になる言葉は笑顔を作ることになるので、心の中でウイスキーと言いながら心から自然な笑顔ができるように心がけています。）

喜怒哀楽 さとう記念病院　介護　鈴木 敏弘

業務の中で嬉しかったこと、それは私が行った介助に対し、入所者様が「ありがとう」と言ってくださったときです。逆に哀しかったことは入所者様によかれと思い行った介助が余計な事と思われたことで、それと同時にどうしてそう思われるのか私自身わからず、私自身に怒りが込み上がります。最後に楽しかったことは入所者様と一緒に歌を歌ったり、入所者様が集まって会話をしている中に私も交ぜてもらい会話をすることがとても楽しく感じます。

●**好きな言葉**…雑草魂

リハビリ

喜怒哀楽 サンライフ倉敷　OT　近藤徹弥

仕事に追われ忙しくなり、失意に落ちいってた時、ふと側で○○様の声がした。「ありがと、私のために働いてくれてありがとう。」この利用者は訓練のたびに不機になる、重度の認知症の方である。○○様と、今まで乗り越えてきた幾多の苦闘が思い返された。「そうだ、○○様はもっと頑張っている。よし、頑張ろう。」一瞬で元気が出てきた。この利用者様は明日退所する。たった一言の言葉や行動が心を元気にしてくれることを思いしらされた。

●**好きな言葉**…感謝

喜怒哀楽　PT　匿名希望

自分が関わった利用者さんの身体機能が少しでも改善されたり、訓練を楽しみに待ってくださっている利用者さんが居られるのが嬉しいこと。反対に自分が関わった利用者さんの全身状態が悪化した時、施設内外で転倒され受傷された時、また永遠の別れに直面する時は、自分の無力さも手伝って哀しく思います。

喜怒哀楽 信愛苑　OT　レイコ

リハビリ訓練で行って訓練効果があった時が嬉しいです。また、その事で本人様や家族様に喜んでもらえ在宅復帰につなげれた時がこの仕事をしていてよかったなぁと思えました。そんな事は本当にまれですが…家族環境などいろいろな理由で在宅移行は難しい方が多いのです。その中で仕事をしていて機能だけを向上する事が老健の役割ではないという事を身にしみて感じています。やはりADLが上がって逆にその方が生活しにくくなるなどそんな事が起きると哀しいです。それでも利用者様が笑顔を見せてくれ、関係づくりができ、その人の生活の一部になれたなあと思う瞬間が嬉しいので、この仕事を続けていく事ができる動力になっています。

喜怒哀楽 倉敷老健　OT　匿名希望

『嬉しいこと』…入所者の方々と変わりのない毎日を送れること。その中で「痛いのが少し良くなったよ」「楽しかったよ」「ありがとう」と入所者の方が笑顔で言ってくれること。普段の生活の中で今までできなかったことができるようになっていることを発見したとき。

『哀しいとき』…入所者の方々が伝えたいと思っていることを上手く解ることができないとき。

●**好きな言葉**…ありがとう（相手が言ってくれると自分が元気になる。相手に伝えると相手が笑顔になる。）

喜怒哀楽 津山ナーシングホーム　OT　匿名希望

認知症専門棟なのでなかなか思うようにリハビリが進まないこともありますが、少しでもご本人様が行えることが増えた時や「これもできるんだ」と興味・関心のあることを見つけられた時というのは嬉しいです。生活リハビリ、難しいこともありますが、いろいろと工夫しながら頑張っていこうと思います。

●**好きな言葉**…遊ぶ

リハビリ

喜怒哀楽 虹
ST 匿名希望

私が嬉しかったことは、他職種連携して利用者様の希望を実現できたことです。経管から経口摂取に移行し、今では他の方と交流が図れるまでお元気になられています。一人では難しい取り組みでしたが、利用者様を中心に情報を共有し連携がとれた結果と思います。STは何をする人?という時もありましたが、連携の一つに加わり利用者様の希望に応えれたことは、今後の課題と自信につながりました。
●好きな言葉…ピンチはチャンス

喜怒哀楽 日立養力センター
理学療法士 太田 貴博

先日、通所リハビリに子犬の「小力(こりき)」が加わり、当施設の動物は猫と合わせて2匹になりました。動物好きな私にとっても嬉しい事ですが、それ以上に動物の癒しの力が、反応の少なかった方が手を伸ばし、動物との関わりから発語が増えコミュニケーション場面が広がるなど利用者様を活動的にさせ、機能の向上につながっていくように思われます。今後も、犬や猫の手も借りながら在宅復帰に向けた支援に取り組んでいきたいと思います。
●好きな言葉…人を思いやる気持ち

喜怒哀楽 弥生ヶ丘
リハビリ 匿名希望

喜…入所者の方の笑顔。ADL的にupした時。
怒…余裕がないこと。(時間、書類が多い、技術)
哀…せっかく機能的にupした人が転倒したり、体調を崩して入院した時。
楽…入所者とのコミュニケーション。
●好きな言葉…一期一会(意味のとおり。その人との出会いを大切にし、リハビリを…)

喜怒哀楽 邑久ナーシングホーム
作業療法士 平尾 有

「ここに来たら好きな事が言える」今の僕の最高級の言葉です。年を重ねていき、世代交代があり役割が一つまたひとつと失っていくうちに、言いたい事を言える場面が少なくなっていきます。その中でHな話や腹立つ話、真面目な話を腹を割って一生懸命話して下さる皆様の表情や気持ちがとても嬉しいです。僕みたいは若造をもっと叱って下さい。僕は皆様みたいに素敵に年はとれないから…とてつもなくスケベなじいちゃんになる決意をしました!!
●好きな言葉…ふたりは違う。だからひとつになれる。(1人の人間として相手を、誰かを思いやる事の重要性を感じるから。)

喜怒哀楽 老健あかね
作業療法士 児島和美

日々、様々な感情が生まれますが、表に出すのはいつも同じ調子であるよう心掛けています。初め老健という場所柄、色々な性格の入所者がおられ、多くの方を相手にし、疲れたな…と思ったり、仕事のペースがつかめず悩んだりしていました。しかし職場のスタッフを見て、無理に合わすのでなく相手のペースに合わせて対応することが大事だと気付きました。今後も、相手と向き合うことを意識しながらリハビリに励んでいきたいと思います。
●好きな言葉…百里を行く者は九十里を半ばとす。花鳥風月　風来坊

喜怒哀楽 和光園
OT 山本豊和

最近嬉しかったことは、起き上がり動作がずっとできなかった利用者が、自分の力でできるようになったことです。また、ある利用者に自分の足で歩けることを体感してもらえた時、利用者の表情が笑顔でいっぱいになった瞬間、とても胸がいっぱいになりました。やはり、利用者のプラスの変化が1番嬉しいです。逆に哀しいのは、やはりずっと関ってきた利用者が亡くなられた時です。自分に何ができたのかとても考えさせられます。
●好きな言葉…急ずればいつか花開く(中学の卒業の時に先生が贈ってくれた言葉です。今でもすっと強く胸に残っています。)

栄養課

喜怒哀楽 いるかの家
管理栄養士 匿名希望

私にとって1番大切な事は人と人との触れ合いです。栄養士である私は、主に利用者様とお食事で触れ合っているといっても過言ではありません。食べるということは生きることと直接結び付きます。だからこそ私たちも実際に利用者様の食事風景を見たり、食事介助をさせていただいて初めてその人に合った食事内容や形態を知ることができるのです。そして提供したお食事を「おいしい」と食べていただける事が、栄養士として1番嬉しかったことです。
●好きな言葉…なせばなる

喜怒哀楽 弥生ヶ丘
栄養士 匿名希望

嬉しかった事は調理現場での仕事をしながら少ない時間でさまざまな事を考慮しながら献立を立て、身心共につかれている時に献立についてよい意見をもらえた時や、自分でも納得のいく物事ができたときです。(なかなかありませんが…)哀しい事は、同じ職場内での紛争を耳にし、目にし、巻き込まれた時。お互いに文句を言うととらえるのではなく、外部からの意見としてとらえ、改善できる点は改善していくべきだと思う。言い方一つにもその時の感情は変わりますが、仕事の事なので、後には引かない。
●好きな言葉…ほほえみはやわらかな心の花(他者に対してこういう気持ちでいたい)
人生は挑戦だ、克服するのみ(自分への言葉)

喜怒哀楽 弥生ヶ丘
栄養士 匿名希望

私は老健で利用者の為に毎日の献立を考え食事を提供しています。他職種のスタッフとも関りながら、ご老人達をケアさせて頂く。スタッフ各々に違った考えや意見もある中で皆が同じ一つの気持ちになる事が重要で難しい部分です。悩みを抱える事もありますが利用者の「おいしい。」の一言で救われる事も度々あります。利用者の本当の気持ちは「家に帰りたい」ではないかと。心の奥底までのケアは難しいですが、私にせめて出来る事は食事を提供し利用者の楽しみの一つとして頂きたい。そう思いながら現実に着実に向き合う気持ちで日々仕事をしています。
●好きな言葉…思いやり(この気持ちあってこそ人間関係の成り立ちを支えていられると感じているから。)

喜怒哀楽 和光園
管理栄養士 難波裕子

私たちの施設では、利用者さまのお誕生日に何でも食べたいものを「お誕生日食」として提供しています。お誕生日当日には、調理を担当した栄養士が直接利用者さまの元へ食事を運び、一緒にお祝いします。目の前に並んだご馳走をみて、とびきりの笑顔をみせ、時には涙を流して喜んでくださる利用者さまの顔、ご家族の顔を見る度、こちらも笑顔になり、栄養士としての仕事の喜びを感じています。
●好きな言葉…一期一会

相談部

喜怒哀楽 くろかみ
支援相談員 匿名希望

業務を離れ、ご利用者様と世間話をしている時が一番楽しい。100歳を超えるご利用者様。自分の大好きな「新撰組」斉藤一と同じ時代を何年か生きてこられた方だ。昔の話はリアルでその時代の情景が目に浮かぶ。ある利用者様からは曾祖父の武勇伝を聞ける事があった。自分は生前、曾祖父を写真でしか知らない。家族さえ知らないエピソードを聞かせて下さった。曾祖父の人柄が何となくイメージできるようになった。
●好きな言葉…大器晩成

喜怒哀楽 勝央苑
支援相談員 匿名希望

以前認知症の入所者の方で、普段の会話ができにくい方がおられました。その方に朝いつも「おはようございます。」と声をかけさせて頂くと、「ごくろうさんです。」と返事をして下さいました。ちょっとした会話のやりとりでしたが、とても癒され、未熟な私が励まされる一言でした。
●好きな言葉…熱いハートとクールな頭(学生の時、福祉に対する心がまえのような事で教えてもらったように思います。いつも情熱をもち、かつ冷静な判断力をこころがけるよう心にとめています。)

喜怒哀楽 信愛苑
支援相談員 匿名希望

喜…本人・家族より"ありがとう"と笑顔で言われた時には嬉しく思います。
怒…H18.4～の介護保険改正が利用者、家族にとって何のメリットがあるのかと考えた時に改悪でしかない制度に怒りを感じます。
哀…本人の思いと家族の思いのズレがあり、本人が家族を思って在宅生活をあきらめたり、サービス利用をされているのを見ると感じています。
楽…利用者・家族と前向きな話ができたり、楽しくおしゃべりができた時に楽しく思います。

喜怒哀楽 和光園
支援相談員 若林 由紀子

相談員としての喜びは、やはり利用者の望む在宅復帰ができ、家が良いと喜ぶ姿を見た時。また、苦情対応をする中で、初めは互いにギクシャクしていたが積極的に関りを持つことで、苦情ではなく意向として気軽に話しができる関係に好転した時は、嬉しい気持ちとともに、あきらめないことの大切さを感じます。哀しさは日々の業務の中で人と人との連携においてつまづく場面で感じますが、それでも常に前向きでありたいと思います。
●好きな言葉…自分の価値は、自分で見い出す(人は生まれた時は何の役にも立たないが、努力で価値はいくらでも上げることができるという思い。「自分なんて…」と思う時、自分を励ます言葉です。)

事務・送迎

喜怒哀楽 勝央苑
事務 姿三四郎

前の職場の上司(先輩)が利用して下さり大変ありがたいですが、当時の厳しく元気であった姿を思い浮かべると複雑な気持ちになります。嬉しいことでは、倉馬鹿ですが、孫が今年8月にありました日本武道館での少年武道なぎなた錬成大会において、5年生の部で準優勝したことです。
●好きな言葉…継続は力なり(子供達に武道(なぎなた)を指導しているので)

喜怒哀楽 信愛苑
事務・送迎 匿名希望

●好きな言葉…臨機応変(あらゆる職場、状況においても、固定観念にとらわれずその時の最善の判断をすることが大切と思うから。)

喜怒哀楽 南岡山ナーシングホーム
事務 西岡 知美

当施設では6年前から音楽療法を行っている。音楽好きの職員が集り手探りで立ち上げた療法チームで、私はピアノ伴奏をしている。音楽療法で対象者と関わることは、事務所の箱入り?受付嬢であった私を変えた。140人の入所者の名前や身体状態は書類でわかっても、その方がどういう人生を送り、今何を望まれているかは実際接してみなければわからない。盆踊りの曲で盛り上り、軍歌で哀しい表情になる。皆さんと共に音楽を味わいつつ、私自身の音楽や介護とも向き合っている。
●好きな言葉…一期初心(その時々の初心を忘れなければ、終生芸は衰えないという、世阿弥の言葉。)

喜怒哀楽 備前さつき苑
事務 草加 昌昭

今年4月の人事で現在の職場に移り、半年が経ちました。事務長の大任を拝していますが、時折、通所リハビリ送迎車の運転も行っており、事故を起こさない様にと毎日が緊張の連続です。それでも車中は賑やか。ラジオから流れるニュースが話題となって、世相談義で大いに盛り上がり、往復で約2時間の楽しいドライブとなります。そして、何よりも嬉しいことは降車の際の皆さんの言葉「運転手さん、ありがとう」無事故で終えた安堵感で一杯です。
●好きな言葉…習うより慣れろ(新しい職場で新しい仕事。何もわからない自分でもやがては周囲の人達と同じようにできるようになる。あれこれ習って悩むよりも慣れてしまうことが大事だといつも自分に言い聞かせています。)

喜怒哀楽 和光園
事務 赤木 裕美

保険請求を始め、締切に追われる忙しさはありますが、利用者さまとの会話、周囲の職員との付き合いを通じて老健ならではの人の温かみを感じています。また、毎月の広報誌の編集や行事プログラムの作成も担当していますが、これらの作品作りはとても楽しく、利用者さま、お客様に直接ご覧頂け、楽しみにして下さる事が聞けた時は嬉しい限りです。今後とも、温かみのある職員の一人として、その役割を担って行きたいと思います。
●好きな言葉…知は力なり(まさにその通りだと思うし、自分の自信にもつながるので常に"知"の姿勢を持ち続けたいからです。)

ケアマネ

喜怒哀楽
ケアマネ 匿名希望

ケアマネは業務が多様で、どこからどこまでが業務なのか難しい。せっかく計画をたてても全く実行できなければつらい。また、老健の役割を家族が理解してくれず、反対に怒られることもある。反対に役割を理解し、少しでも在宅へ向けて考えてくれる家族や、在宅を頑張ろうとする家族がいると本人ともども喜ばしいし、応援したくなる。また、各職種の考えが一致し、一致団結して協働でケアできるプランができれば一番うれしいです。
●好きな言葉…忍耐(今はしんどくてもそのうちいいことがあると思ってがんばれる)

喜怒哀楽 シルバーセンター閑谷苑
介護支援専門員 舟引 清隆

施設ケアマネとして業務をする様になったのは、前施設で、翌年に介護保険の施行を控えた平成11年の春でした。その当時のケアプランは形式的に書類だけを揃えるのに躍起になっていたのを苦い経験として思い出します。それから早7年の年月が経過しケアプランもICFが重視されるようになり、ケアやリハを本当の利用者様本位にする為の強力な武器となるツールとして導入する施設やケア機関が多くなりました。ケアもリハも利用者様と専門家が車の両輪となってすすめ、大川弥生先生の言葉の様に、マイナスの発想からプラスの思考へ、心身機能から生活、人生の喜びへ、受け身からチャレンジの介護福祉時代が到来したことを身につまされる今日この頃です。

介護報酬改定と老健施設の闘い方

医療法人 和光会
岡山県老人保健施設協会 学術委員長　江澤和彦

本年4月の介護報酬改定が実施されて約半年が経過した。皮肉なことに、われわれの業界では、施設入所を拒まれる要介護度の軽い「介護難民」、医療療養病床から追い出しを余儀なくされる医療ニーズの低い（医療区分1）「医療難民」、担当件数制限と介護報酬バランスのためお世話になるケアマネジャーが見つからない「ケアマネ難民」などの「難民」が続出している。現場を預かる身としては、とても心が痛む思いである。制度改定の前にケア付き住宅などの虚弱高齢者の在宅の受け皿を整備し、利用者や事業者への早めの情報提供や制度変更のための準備期間を設けるべきではないであろうか。

さらには、昨年10月のホテルコスト自己負担化や今後予測される介護保険サービス利用者負担増（2〜3割?）など受益者負担が加速する一方で、格差社会の影響もあり、介護サービスを受けたくても思うように受けられない状況が発生している。保険料を徴収され肝心のサービス提供を受けることができないことは、由々しきことであるし、弱者救済という本来の社会保障制度のあり方をもっと踏み込んで考えるべきだと考える。

さて、最近の介護報酬改定について一考してみると、当然前提として、厳しい介護保険財政下にある制度の健全な運営をどう維持していくかであり、より効率的に質の高いサービス提供を行っていくことが大命題である。したがって、科学的根拠のあることや有効性の高い実績があること等に、報酬が厚くなっているわけである。その逆を考えると、現在加算がある算定項目においても今後好ましい結果が伴わなければ、その項目自体廃止となる可能性がある。たとえば、栄養ケア・マネジメント、認知症リハビリテーション、介護予防メニュー（運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上）などがそれらに該当する。

職員の配置に関しても、専門職が何人いるから加算するというスタンスから、専門職が実際にマネジメント等を個別に行ったことについて報酬がつくという傾向に大きくシフトしている。つまり、専門職員はその専門性を十分に発揮しなければ、資格があるからというだけでは務まらない状況となっている。これらの報酬改定における一連の流れは当然のことと思うし、提供サービスの質の向上を考えれば共鳴できることである。批判の的となっているカラオケや風船バレーにしても、個別性を重視したケアの観点から見れば、「カラオケなら介護保険を利用せず、カラオケボックスでどうぞご自由に歌ってください」ということになる。結果として今回の介護報酬改定は、在宅分平均▲1%、施設分同±0%、全体改定率▲0.5%となった。昨年の10月の施設分▲4%であったホテルコスト自己負担化

ちょっと聞いちゃって、うちの施設

介護老人保健施設　倉敷シルバーナーシングホーム

倉敷市児島柳田町355-1 入所定員50名　通所定員50名

当施設は鷲羽山の山頂にあり、児島の町並みや瀬戸内海が見渡せる景色の良いところに立っております。同一敷地内には特別養護老人ホーム、ケアハウスがあり、複合型施設としての特徴を活かし、ご利用者様のご要望にお応え出来るように他施設との連携を図りながら運営しています。老人保健施設の役割としての機能回復訓練については、ご利用者様の在宅復帰を目標に、達成感を感じていけるようにプログラムを工夫。「やる気」を引き出し、またご利用者のご状態に合わせながら、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう日々努めています。生活支援としては、全てのご利用者様に安心とゆとりある生活を、「とにかく楽しく笑って過ごしてゆける生活」をおくっていただけるよう、入所前の調査時や生活の中より趣味、嗜好を発見し、「その人らしく」を大切にサービスを提供させていただいております。内容としては季節に応じた月1回の年中行事をはじめ、毎週のおやつ作りでは様々な趣向を凝らしたおやつをご利用者の方々と一緒になって作ったりしています。その他にもクラブ活動ではちぎり絵、押し花などにもご参加いただいております。
スタッフ一同、ご利用者の方々が心の底から楽しめるものを提供し、心身ともに健やかに過ごしていただけるよう、また少しでもご利用者の方々の自立を支援できるよう、日々がんばって取組んでおります。

導入の影響を考慮すると、今回の全体改定率は▲2.4%となる。

在宅系においては、今回、改定の目玉である介護予防が注目されているが、これからの3年間で積み上げる実績がその後に大きく影響することは言うまでもない。そもそも介護予防には、質の高い研究による科学的根拠に基づいたエビデンスはないのだから、わが国全体で取り組んだ結果は注目に値する。ぜひ各事業所が、科学的、客観的に結果を評価し、より有効な手法を模索することに切磋琢磨して取り組んでいくことを期待する。ただ、通所系事業所の事業所評価は要介護度の改善をその評価に用いるとしているが、制度下のスタンダードな介護予防メニューのみで要介護度が改善するとは考えられず、日々の健康管理や非通所日のすごし方、訪問系サービスとの複合なども重要な因子となる。

ちなみに、2ランク改善は要支援2から非該当（自立）であり、実際には考えにくいため仮に0として想定すると、要介護度悪化利用者が0人としても、要介護度1ランク改善利用者が全体の25%を超えないと事業所評価加算算定の基準を満たさないことになる。現在の要介護度1利用者の改善率が3.5%程度であることを考えると、これは相当高いハードルである。

通所系サービスの介護給付においては、基本単位は重度要介護度の重視、栄養マネジメント・口腔機能向上・若年性認知症ケア・リハビリテーションマネジメント・短期集中リハビリテーション実施の加算が創設された。栄養、口腔に関する加算は、介護予防の選択メニュー同様いずれも100単位と低い設定になったが、これらは本来通所事業所においてなされているべきものであり、我々の事業所に対する「今回加算をつけるからもっとがんばってくれよ」というエールにも聞こえる。リハビリテーション関連の加算は、これからの老健施設の役割を考えると合理的であるし、我々に対する期待感を感じる。特に短期集中リハビリテーションは、まさにこれからの老健施設のあり方を明示しているのではないだろうか。逆に言うと、短期集中リハビリテーションの算定がおぼつかないようでは、老健施設の果たすべき機能という観点から今後、運営自体に支障が出てくるものと思われる。若年性認知症ケアについては、認知症リハビリテーションとともに今後、有効性の高いサービス提供の模索が期待される。そのためには、実施するプログラムのメニューを十分吟味し、得られた結果を科学的に分析することが肝要であることを付け加えておく。

そのほか、在宅系では、予防給付の訪問リハビリテーションおよびそれに伴う同マネジメント加算が創設され、短期入所サービスにおいては、緊急性や虐待への対応、日帰り利用に配慮がなされ、短期入所の施設サービス費は現状維持であった。この部分にも在宅重視の観点が色濃く現れている。

では、入所系の改定の中身はどうであろうか。結論から言えば、この4月の介護報酬改定では老健施設はおおむね±0%ということになっているのだから、「多床室の介護保険施設サービス費1日20単位減額分についてはその他の加算等で取り戻してください」といったところであろう。

通所同様リハビリテーションマネジメント・短期集中リハ

ちょっと聞いちゃって、うちの施設

介護老人保健施設　美作リハビリテーションホーム

美作市豊国原1057−2 入所定員56名　通所定員20名

私たちの施設では、入所者の皆様が同じ空間の中でも日々楽しく過ごしいただけるよう、ボランティアの方々のご理解・ご協力を得、様々な活動に取り組んでいます。
習字、押し花、生け花、小物作り、絵画などのクラブ活動的なものをはじめ、お正月には獅子舞…1年の健康を願って獅子に頭を噛んでもらい、秋祭りの頃には地元春日座の中学生による歌舞伎、高校生による金時太鼓等など地域の皆様との交流をはかりながら、施設にいても季節感を感じながら過ごしていただけるよう心がけています。
季節の花を生けながら家の近くで咲いていた花を思い出し、筆を執りながら幼少の頃に思いをはせる、可愛らしい小物を作っては孫にプレゼントするんだと心をときめかせ…これからも家がいつも近くに感じいただけるように願い、ご家族との掛け橋としてのお手伝いが出来ればと思っています。入所者の皆様の笑顔に力を頂きながら、これからも「ここで良かった」と思ってもらえるような施設作りを目指します。

ビリテーション実施加算、試行的退所サービス費、在宅復帰支援機能加算が創設された。これらは、いずれも老健施設の中枢的な機能であり、多職種協働でリハビリテーションを行い、試行的退所サービスを上手に利用し、在宅復帰率50%を達成することがポイントとなる。そのためには、ニーズ発生時のタイムリーな一定期間の入所と在宅療養を目的とした退所を繰り返し、利用者の生活を支えていくリピート利用、すなわち在宅と施設を行きかう往復型の利用形態の導入が望まれる。本質論から言えば、試行的退所サービス費が800単位だからどうのこうの、在宅復帰率が50%を超えていなければ、といった問題ではないのである。これらに関しては、まさに老健施設の生命線であり、在宅復帰支援を目指して新たなものにチャレンジし、その結果として加算算定を目指していくべきであろう。実際そうすることによって利用者の有益性に結びついていく。したがって、今回創設されたサテライト型老人保健施設については、本来の老健施設機能を果たしていればその必要性を感じないのではないだろうか。現存の老健施設がその役割をちゃんと果たしていく方が、介護保険財政も抑えられるはずである。

今回、老健施設においてのみ認知症リハビリテーション加算が新設された。しかも、指示を出せる医師の要件として、「精神科、神経内科および研修を受講した医師」ということが盛り込まれた。研修受講については全国老人保健施設協会の認知症研修受講が条件となったが、医師の専攻科によって種別したことは画期的であったと言える。認知症リハビリテーションについては、その手法や有効性の評価等の科学的根拠の探求はまだまだこれからの分野であり、今後この加算が重要視されるかどうかは次の改定までの3年間にかかっている。それだけに我々老健施設とすれば、認知症リハビリテーションには、結果の出る方法論を研究して十分にアセスメントし、より慎重に取り組む姿勢が必要となる。そうしなければ本加算の未来はないと考える。

経口維持加算も創設されたが、内容的には昨年10月の経口移行加算をわかりやすく移行加算と維持加算に分けたことと経口維持加算「 を新設したことであった。従来どおり経口維持加算。 の算定根拠には嚥下造影検査もしくは内視鏡検査が必要となるが、経口維持加算「 はわずか5単位/日ではあるがリスクの管理体制が整備されていれば、医師の判断により水飲みテスト等簡便な検査法を用いても算定できるものである。しかし現実的には不顕性誤嚥（むせのない誤嚥）をきたしている場合も多く、より医学的なアプローチを考えると、もし嚥下造影や内視鏡が実施できる環境にあるなら、なるべくそれらの検査を行うべきである。

今回、感染管理体制の強化、介護事故に対する安全管理体制の強化として、これらの要件が運営基準に盛り込まれた。ということは、決められていることを行っていないと、実地指導等で指定基準違反として施設サービス費からの思わぬ大きな返還ともなりかねないので気をつける必要がある。身体拘束廃止に関しては、例外的に行う場合において1人でも適切なプロセスを経てないと、入所者全員から5単位/日の減算となる。このことも基本的人権の尊重の観点から大いに評価できる。身体拘束をやむを得ず行う場合の条件として、生命に危機が生じる時、どうしても

ちょっと聞いちゃって、うちの施設

介護老人保健施設 **邑久ナーシングホーム**

瀬戸内市邑久町箕輪266-1 入所定員70名 通所定員50名

平成10年12月開設の邑久ナーシングホームは、JR赤穂線邑久駅から北東約4Kmの閑静な田園地帯に位置し、近くには『宵待ち草』でも有名な画家　竹久夢二の生家や、世界的人形師　竹田喜之助記念館などがあり、昨年の岡山国体開催中には僅かな時間でしたが天皇陛下がお立ち寄りになりました。こののどかな地で私達は、ご利用者様の“普通の生活”をしていただくことを目指し、お一人おひとりのご希望に沿った生活を実現する為に、施設サービス計画とは別に「生活プラン」を立て、それに基づいたケアを行っています。ご健康だった頃の生活の様子を食事について・人の家を訪問する事・いろいろな趣味を行う事・信仰を持つ事とその行事など14項目にわたりご本人やご家族にお尋ねし、現在の残存能力を含めた状況を分析した上で、望ましい援助は何か？施設として何が出来るのか？等の検討を重ね、実践しております。個別性を重要視した独自の生活プランは、お一人おひとりの人生を振り返る機会を持つことで、ご利用者様と私達とのお互いの信頼関係がより深まることを日々実感しています。

代替方法がない時、一時的である時の3条件が全てそろうことが、厚生労働省が以前から示しているものである。現場レベルにおいては十分にこのことを理解・熟知していなければならない。

今回の、介護保険制度の骨子は一言で言うならば、中重度者の在宅介護の充実である。そのキーワードは、「365日24時間」と「在宅ターミナル」であると考える。つまり、在宅介護を支えていくための365日24時間の安心の保障提供と、人生の極力最期までたとえ終末期であっても在宅で過ごすことを目指すのが、今回改定の極論であろう。今改定で言えることは、いわゆる「在宅」とはイコール自宅だけではなく、特定施設、有料老人ホーム、高齢者専用住宅をも含めていることが明確となっている。そして、あえて言うなら、現存の「医療病床」、「介護病床」に加えて、私の造語ではあるが、新たに「在宅病床」を強烈に位置づけた最初の改定であると評価している。在宅における自宅のベッドを病院や施設のベッドと見立て、さながら地域の道路が専門職が行きかう病院や施設の廊下であろうか。ただし、ここで一つ検証しておかなければならないことがある。はたして、在宅サービスのほうが施設サービスより本当に安くつくのかどうかということである。両者の提供サービスの範囲、時間、濃度など質の違いを考慮し、それぞれのアウトカムから判断すると、必ずしも在宅サービスのほうが、財源的に安くすむとはいい切れない。

現実問題としては、診療報酬、介護報酬ともに当面マイナス改定が続くデフレスパイラルにあり、社会の高齢化が進みニーズは増えるものの、一事業所に配分される報酬は今後減り続けるであろう。しかも国民の貴重な税金と保険料を利用した制度であるため、制度化の事業の利益は適正化、標準化されるのがルールである。つまり、経営実態調査等において例えば老健施設や通所リハビリテーションの利益が高いとすれば、他の事業所の利益に準じるように報酬を下げてバランスをとっていくのである。施設が生き残っていくためには、その機能に応じた役割を制度の方向性とともに明確に果たしていくことが要求される。老健施設の使命は、チームケアに基づいたリハビリテーションを中心とした在宅復帰、在宅支援であるから、これが今後の生命線となるのである。一部では、入所期間の長期化した特養ホーム的な老健施設がその機能を果たしていないということで批判を浴びている。平成24年度からは、介護療養病床から15～17万床が老健施設に転換する見込みであり、全国の老健施設の病床数が現在の約1.5倍以上になることになる。果たして現存の老健施設と転換型老健施設が1類型で成り立つのかどうかという疑問が残る。

私は、老健施設にとってはこの介護保険制度第3期事業が正念場であると考えている。とにかく、この平成18年度から平成20年度の3年間に全国の老健施設が本来の機能を発揮しないと、未来はないかもしれない。介護療養病床は、給付額に見合った結果を残していないという指摘もあって廃止となったのである。老健施設だって、いつ廃止あるいは枠組み変更となってもおかしくない世の中である。今の制度改定の流れをみていると、将来老健施設が重度者のための居住スペース、すなわち、在宅に置き換えられても全く不思議ではない。ぜひ老健施設運営者としては、誰もが納得する社会効果を発揮して、今後の展開に希望を繋いでいきたいところである。

ちょっと聞いちゃって、うちの施設

介護老人保健施設　**夕なぎケアセンター**

岡山市宿毛745−1 入所定員80名　通所定員60名

当施設は岡山市東部、日本のエーゲ海と称される美しい島々を眺めることができる瀬戸内市牛窓町とのほぼ境に位置します。施設の周りは自然豊かな山々と田園に囲まれたのどかで静かな環境にあります。隣接施設には、診療所、ケアハウス（定員50名）、グループホーム（定員9名）、特別養護老人ホーム（定員60名）、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション等があり、地域の高齢者・障害者の生活支援をめざしております。当施設は平成9年8月の開設より、今年ではや10年目を迎えております。私たちは常に利用者の方々から喜ばれるサービス提供を意識してまいりましたが、10年目を迎えるにあたって、私たちは従来の業務を見直し、より質の高いサービスを提供していくためにISO9001の取得を目指していくことになりました。まず、最初に各部門の管理者が中心となり業務を洗い出し、業務手順をそれぞれ文書化しました。業務手順書の作成途中で介護保険の改正などもあり多少の混乱もありましたが、全部門での取り組みもあってか、職員全体に一体感が生まれたと感じています。また、業務の流れを文書化することで、他部門の業務の流れも知ることができ、サービス全体の流れの理解にも役立っています。業務手順を見直す中で、いくらかの修正すべき点に気付くことができました。例えば、今までの業務内容ではチェック機能に欠ける部分が多くあることに気付き、そこで二重三重のチェックができるような体制づくりに取り組めました。このような課題をどんどん見つけて、それらを修正していくことができるというだけでも、これらの作業に時間を費やす意義は大いにあったのではないでしょうか。最後に、去る8月26日には夕凪会主催で「第10回夕なぎふれあい夏祭り」が開催されました。利用者の方々とご家族の皆様、地域・ボランティアの方々が参加してくださり、10回目という節目にふさわしい盛大な祭りとなりました。夕なぎケアセンターからは利用者の方々の歌や踊り、当施設の人気者である支援相談員率いるフォークバンドによる歌と演奏、そして若い職員たちによるロックソーラン節などが披露されました。

当施設は現在も発展途上であり、利用者の方々にとってまだまだ満足しきれる施設ではありません。これからも私たちは、現在そして将来の利用者ニーズを理解し、利用者の方々のご期待を超えるよう努めていきたいと思っています。

「介護予防の取組について」

亀龍園　星谷　光世

～今までとは違うカラーを出すために～

介護予防事業が開始されて約半年が経ち、デイケアやデイサービスでは日々奮闘されていることと思います。

当園では今年初めより4月の事業開始に向けて様々な準備をし、介護予防の特徴を利用者と職員に浸透するような取り組みを実施してきたので紹介いたします。

□意識改革

これまでの通所系サービスでは、排泄、入浴、 食事とリハビリテーションを主な活動基盤として、施設側が利用者に対して「どうぞおいでください」という意識があるのではないか。利用者も職員にしてもらって当たり前のような意識があるのではないか。「介護を予防する」「できることは自分でする」「健康を維持する」という観点ではこれまでの意識を職員と利用者共々変えていくことと、要介護者と要支援者の違いを明確にすることが必要であった。

□取り組み

要支援者に対しこれからは目的を持って施設を利用することを利用開始日に説明し、利用者が①自己選択②自己決定③自己実施できるよう資料を作成した。

（資料1）

（資料2）

資料1を基に「今日は何をするのか?」を利用者に計画してもらい、実施方法や効果など説明していく。

帰園時には「今日は何をしたのか?」を振り返ることと達成度を記入できる記録用紙を作成し（資料2）毎回記録してもらっている。

中心となる活動内容は既存のマシンや設備、クラブ活動で「何に効くのか」「どういう効果があるのか」を積極的に随時伝えていくこととした。また職員には新しいシステムを導入するに当たり、会議や勉強会を開いて伝えこれまでとは「違う」ということを共有することとした。

□現在の様子

介護予防へ移行となった利用者は、初めは戸惑いや不安をこぼすこともあったが、「今日は○○したよ」「今日は○○できんかった」といわれるようになった。

日々の記録は「めんどくさい」「また書かんといけんの」と不評であるが、中にはボールペンを持参していたり、「今日はまだ書いてないから持ってきて」と言われる方もいる。また職員が「○○できた?」と利用者に声かけし確認する姿を多く目にすることが増えてきたように感じる。

□まとめ

書面の関係で全てを紹介することができませんでしたが、今までとは違うカラーを出すためには準備と説明に多大な時間を費やしました。きっとどこの施設でも同じでしょう。良いアイデアやご意見などありましたらどうぞ気楽に情報交換してみませんか?

介護老人保健施設　すこやか苑
リハビリテーション･通所リハビリテーション部門リーダー
奥田　真由美

すこやか苑では、平成15年より転倒予防や体力向上の為、通所リハビリテーションにおける体力測定を定期的に行う取組を始めた。同時に、3ヶ月ごとにテーマを決めて利用者対象の「健康講座」を行い、自分の健康を維持する大切さを講義形式で説明した後、実際に体験してもらった。健康講座の主なテーマは「転倒予防」「生活習慣病管理」「物忘れ予防」「抑うつ予防」「口腔ケア」「脱水予防」などである。OT･PT、歯科衛生士、管理栄養士、介護福祉士などでそれぞれの分野を分担して、講義に加え実技で体操やクイズ形式の知識確認などに取り組んでいただいた。

平成16年は重錘式のトレーニングマシンを導入し、多様な人に実施した。

平成17年も同様に健康講座やトレーニングを実施していた。そして今年度、いよいよ制度としての介護予防が始

介護老人保健施設
美作リハビリテーションホーム　作業療法士
佐藤　秀則

美作リハビリテーションホーム（通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション）では、理学療法士、作業療法士、看護師、介護職員が協同し、生活機能の維持・向上をめざし総合的に支援していきます。

四月より介護予防が始まり各施設で試行錯誤されていると思いますが、当施設でもそれぞれの利用者さまに対し充実したサービスが提供できるよう取り組んでいます。

訓練プログラムはさまざまで、運動器機能向上に対しては主にパワーリハビリに取り組んでいます。パワーリハビリ以外にも重錘バンドやセラバンドを使用した訓練、転倒予防体操、腰痛予防体操等、個々に応じて取り組み、自宅においても実施可能なもの、歩行訓練、日常生活動作訓練、家事動作訓練を行いながら生活に張りが持てるようにと活動・訓練内容を考えています。

美作リハビリテーションホーム一日の流れ

9:30	通所リハ開始
	健康チェック（体温、脈拍、血圧測定など）、水分補給
10:00	リハビリ開始（ウォーミングアップ、パワーリハビリ、筋力向上訓練等）
	入浴
11:45	健口体操
12:00	昼食
	口腔ケア
13:00	物理療法
14:00	趣味活動（手芸、小物作り、絵画、書道、ゲーム、など）
15:00	おやつ
	自由時間
15:45	整理体操
16:00	送り

まった。平成18年度は、利用者が日中過ごすデイルームに設定の要らない油圧式トレーニングマシンを設置し、自主トレーニングなどの運動機会を持てるようにした。それまでは動くことに消極的だった人も、利用者同士誘い合う中でだんだんと自ら行うようになってきた。そのうち、物忘れのある人の種目を覚えて代わりに指示したり、カウント介助をする利用者もでてきた。よく、「高齢者に筋力トレーニングをしてどうなる。」「そんなことは利用者がやりたがらない。」などの否定的意見を耳にすることがある。たしかに、施設に置いたからとトレーニングマシンを示して、行うよう指示しても利用者はやらないし、マシンを行うことが目的ではない。大切なことは、対象となる利用者自身がどれだけ主体的に自分の健康に資するプログラムを行う土壌をつくるかである。

健康講座（転倒予防）座って行うエアロビクス

歯科衛生士による口腔機能スクリーニング

通所リハビリテーションは人の集まる場であるが、この人と人のつながりを活用することにより、利用者の自発的な取組を促すきっかけ作りができる。利用者同士で誘い合ったり、競争しあったりとその作用は様々だが、共に行う中で「一緒に元気になろう。」というメッセージを感じられる、とてもよい活動になっていると実感している。「移動」は全てのADLの底上げにつながる重要な要素であり、これを効果的に保つことができれば在宅生活も維持しやすい。形として運動を行うだけでなく、生活場面で家事を再開したり、来所場面で広いデイルーム内を動ける範囲が広がるなど、目に見える変化が起きる人も居る。これからも、厚労省から示された3つの分野に留まらず、利用者同士の社会交流技術の支援も視野に入れながら専門知識をわかりやすく提供することにより、介護度の重度化防止に努めてゆきたいと思う。

自主トレ風景・利用者さんがカウントを介助している。

機能訓練だけでなく一人暮らしの方も多く、口腔機能の向上や低栄養化を予防する為に、食事前の健口体操や栄養指導にも取り組み、また、作業活動、レクリエーションなど和やかな雰囲気の中で取り組める活動にも力を入れています。

リハビリというと機能訓練、トレーニングということばかりがクローズアップされる傾向にありますが、介護予防では生活全体に対し総合的な取り組みが必要となる為、今後も個々の状態に応じたサービスの提供が行えるよう日々努力していきたいと思います。

介護老人保健施設　和光園　リハビリテーションセンター
古松 美奈

「介護予防事業」が始まって5ヶ月が過ぎ、現在は22名の方が介護予防通所リハビリテーションを利用されています。当施設でも下記の内容のもと利用者さまに合わせた取り組みを行っています。

＜運動器機能向上プログラム＞・・・17名利用

運動器機能向上プログラムではマシンを使用した筋力トレーニングのみでなく、応用歩行や手足先の運動などを取り入れ、包括的にトレーニングを行います。要支援1の方は週に1回、要支援2の方は週に2回の頻度で運動プログラムを実施します。また「予防手帳」を作成し、自宅で継続して運動が行えるように自主トレプログラムを促しています。

＜栄養改善プログラム＞

利用者さまの栄養改善を積極的に行うことによって低栄養状態の改善、身体機能・生活機能の向上を図ります。毎日の食生活を見直し、管理栄養士がその方に合ったメニューの提供や美味しくヘルシーなメニューや調理法をご紹介しています。

＜口腔機能向上プログラム＞・・・1名利用

口腔機能向上プログラムでは、言語聴覚士を中心に口の中の清潔や飲み込みの能力、舌の動きなどを向上させることで、食生活やコミュニケーションの充実を図っています。基本サービスでは毎日、昼食前後に体操を行い、専門サービスでは月に2度、専門職が個別指導を行っています。

和光園 介護予防通所リハビリテーション 一日の流れ	
10:00	バイタル・体調チェック、入浴、個人作業
11:00	集団体操（棒体操・頭の体操）
	個別トレーニング、個別指導（相談）
12:00	嚥下体操・昼食
13:30	集団体操（下肢筋トレ）、個別トレーニング
14:00	レクリエーション
15:00	水分摂取・おやつ　送迎

①満奇洞

昭和4年、情熱の歌人与謝野晶子が『奇に満ちた洞』と詠んだことから、満奇洞と呼ばれるようになりました。雄大で繊細、豪猛にして精微、鮮麗にして幻怪、水が地球に刻んだ造形の画廊です。

②井倉峡

カルスト台地に高梁川の清流が刻んだ240mの石灰岩の絶壁。白い岩に新緑、そして紅葉、空に季節の雲、それを映す流れ、365景の四季を見せてくれます。また、その奥には、井倉洞がひろがっています。

③絹掛の滝

井倉峡と高梁川上流県立自然公園の中央に位置しており、滝の高さが約60mで、3段からに形成されています。岸壁に白く絹を垂らしたような優雅な滝に見えることから呼ばれています。

④おおさネイチャークラブ

1991年、日本初の第3セクターによるパラグライダースクールとして誕生、岡山県を中心に中国地方から関西方面にかけて多くの方が利用されています。また、シャワートレッキングやカヌーなどのアウトレジャーがご利用できます。

◆高梁市、新見市の介護老人保健施設

- A 老人保健施設　ゆうゆう村
- B 介護老人保健施設　ひだまり苑
- C 介護老人保健施設　くろかみ
- D 介護老人保健施設　すずらん

⑤備中松山城

標高430mの臥牛山頂上に建つ天守は国の重要文化財で、現存天守を持つ山城としては最も高い所にあります。鎌倉時代、有漢郷の地頭秋庭重信が大松山に築いたのを起源とし、1683年に水谷勝宗によって修築、今の姿になりました。

⑥成羽町美術館

成羽川をイメージした流水庭や自然を借景としたコンクリートのモダンな外観は、建築家・安藤忠雄氏の設計によるものです。郷土出身の画家・児島虎次郎の絵画や虎次郎が集めた古代エジプト遺品などのコレクションを展示しています。

⑩吹屋ふるさと村

江戸時代から明治にかけて中国地方筋第一の銅山町に加え、幕末から明治にかけて「ベンガラの町」としても全国に知られました。昭和49年に岡山県指定「吹屋ふるさと村」、昭和52年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれました。また、横溝正史の推理小説『八つ墓村』のロケ地として有名です。

⑨備中神楽

江戸時代末期に神官西林国橋が『古事記』『日本書紀』の神話をもとに神代神楽を創案し、ストーリー性豊かな神話劇が一気に人々の心を捉え『備中神楽』の名前を高める契機となりました。

⑧うかん常山公園

石の風車は最大のものは直径242cm、重さ2tにも関わらずそよ風程度の風で回転する、石と風を結びつけたユニークな作品です。大小7つ並ぶ芝生広場『風の舞台』では、多くの人々の交流の場として様々なイベントが開催されています。

⑦吉備川上ふれあい漫画美術館

全国から寄贈された国内外の漫画約12万冊が収蔵されています。名誉館長の漫画家・富永一朗氏の原画や作品のほか、『手塚治虫大全集』や『ガロ』の創刊号など漫画約6万冊を、自由なスタイルでくつろぎながら読むことができます。

■委員会メンバー

●委 員 長　藤本　宗平
●副委員長　山下佐知子
●委　　員
加藤　久武・福島　穣（虹）
竜門　哲司（勝央苑）
大島　由久（ニューエルダーセンター）
佐山　雅之（弥生ヶ丘）
三谷　典生（ひまわり園）
石村亜矢子・實成　美幸（信愛苑）
福井　清一・植木　友和（のぞみ苑）
横山　伸也（作東老健）
中田　　行・山本　　準（さとう記念病院）
小山　　修（美作リハビリテーションホーム）
山本　　直・加藤　隆寛（ケアガーデン津山）
西　　浩二（ゆうあい）

ジャワ島中部地震義援金ご報告

ジャワ島中部地震義援金を募りました所、16施設より248,764円頂きました。6月21日に全額AMDAへ寄付を致しました。
皆様に感謝を込めてご報告致します。ありがとうございました。

■編集後記

社会のすみずみまで格差が拡がっていることは、老人保健施設で働いている私たちにも実感されるようになっています。それは政策や制度の変化だけでもないように思います。根底には「**自分さえ良ければいい**」という病識も無く蔓延している考え方が潜んでいるようです。憶えているでしょうか、前政権で**「自己責任」「自業自得」**という言葉が飛び出てきました。そう云って突き放す態度は、**「自分さえ良ければいい」**を増殖させたに違いない。人に優しく接しようとする私たちには、受け入れがたい態度です。突き放す側が反省して、美しい日本に再チャレンジするなら、格差解消を云うなら、このキーワードの消去こそ一大キャンペーンの目的ではないでしょうか。

さて2006年秋号はページを増やし、多くの現場の声を載せることができました。人々が優しくなれる瞬間を共有できたのではないでしょうか。そこには

「自分さえ良ければいい」は探しても無いのだ、ということにも気付かれると思います。

広報委員会委員長
老人保健施設「虹」　藤本宗平

発　行
有限責任中間法人 岡山県老人保健施設協会
事務局
介護老人保健施設ニューエルダーセンター
〒713-8102　倉敷市玉島1334-1
TEL（086）526-5511
FAX（086）526-5513
http://www.okayamarouken.jp/

印　刷
有限会社　弘文社
〒708-0841　津山市川崎168
TEL（0868）26-1080（代）
FAX（0868）26-1575
E-mail:t-kobunsha@vega.ocn.ne.jp